Solid State Logic

# SSL UF1

# **User Guide**





# **Solid State Logic**

OXFORD • ENGLAND

Visit SSL at: www.solidstatelogic.com

© Solid State Logic

All rights reserved under International and Pan-American Copyright Conventions.

SSL® and Solid State Logic® are registered trademarks of Solid State Logic.

SSL UF1<sup>™</sup> is a trademark of Solid State Logic.

All other product names and trademarks are the property of their respective owners and are hereby acknowledged.

Pro Tools<sup>®</sup> is a registered trademark of Avid<sup>®</sup>. Live<sup>™</sup> is a trademark of Ableton<sup>®</sup> AG. Logic Pro<sup>®</sup> and Logic<sup>®</sup> are registered trademarks of Apple<sup>®</sup> Inc. Studio One<sup>®</sup> is a registered trademark of Presonus<sup>®</sup> Audio Electronics Inc. Cubase<sup>™</sup> and Nuendo<sup>™</sup> are trademarks of Steinberg<sup>®</sup> Media Technologies GmbH. LUNA<sup>™</sup> is a trademark of Universal Audio<sup>®</sup> Inc. Pyramix<sup>™</sup> is a trademark of Merging Technologies<sup>®</sup> SA. Mackie<sup>®</sup> is a registered trademark of LOUD Technologies<sup>®</sup> Inc. BOSS<sup>®</sup> is a registered trademark of Roland<sup>®</sup> Corporation.

No part of this publication may be reproduced in any form or by any means, whether mechanical or electronic, without the written permission of Solid State Logic, Begbroke, OX5 1RU, England.

As research and development is a continual process, Solid State Logic reserves the right to change the features and specifications described herein without notice or obligation.

Solid State Logic cannot be held responsible for any loss or damage arising directly or indirectly from any error or omission in this manual.

PLEASE READ ALL INSTRUCTIONS, PAY SPECIAL HEED TO SAFETY WARNINGS.

E&OE

Revision 1.0 - May 2023

Initial Release

Japanese version June 2023

実際の製品構成は写真のものと若干異なる場合があります。 また性能の向上のため仕様を予告なしに変更する場合がありますのでご了承下さい。

> 日本語版 © Solid State Logic Japan K.K. 2023 Visit SSL at: www.solid-state-logic.co.jp

# **Table of Contents**

What is SSL UF1?5Features5Safety Notices5Get-Started6
Features5Safety Notices5Get-Started6
Safety Notices 5 Get-Started 6
Get-Started 6
Unpacking 6
UF1 Physical Specification 6
Fitting The Stands (Optional) 8
Connecting Your UF1 Hardware 9
Downloading SSL 360° Software and the SSL Meter Plug-in 10
Installing SSL 360° Software 10
System Requirements 10
Registering Your UF1 - Redeeming and Authorising Your Meter Plug-in License 11
UF1 YouTube Tutorials
UF1 Hardware Layout
Front Panel 15
Connector Panel 18
SSL 360° Software Overview 19
Overview & Home Page 19
Control Setup Page 21
Switching the control layer from UFT (Layer Set Up)
UFT Page 23
DAW Communication 26
SSL V-MIDI Ports 26
DAW Protocols 26
Pro Tools with UF1 - Tutorial 27
SSL 360° Setup 27
Pro Tools Setup 27
Small LCD Layout 28
Large LCD Layout 29
Logic with OF I - Iutorial 43
SSL 360° Setup 43
Logic Setup 45
Large LCD Layout 46
Tutorial 47
Cubase/Nuendo with UE1 - Tutorial 57
SSL 360° Setun
Cubase Setup 57
Small LCD Lavout 58
Large LCD Layout 59
Tutorial 60

Ableton Live with UF1 - Tutorial	71
SSL 360° Setup	71
Live Setup	71
Small LCD Layout	72
Large LCD Layout	73
Tutorial	74
Studio One with UF1 - Tutorial	82
SSL 360° Setup	82
Studio One Setup	82
Small LCD Layout	83
Large LCD Layout	04 85
I UNA with UF1 - Tutorial	97
SSL 360° Setup	.97
LUNA Setup	97
Small LCD Layout	98
Large LCD Layout	99
Tutorial	100
Pyramix with UF1 - Tutorial	108
SSL 360° Setup	108
Pyramix Setup	108
Small LCD Layout	109
Large LCD Layout	110
Tutorial	111
UF1 & 360°-Enabled Plug-ins	120
SSL Meter	120
Channel Strip 2	120
4K B	120
Plug-in Mixer Overview	121
Plug-in Mixer - Tutorial	122
SSL 360° Setup	122
Plug-in Mixer Setup	122
Plug-in Mixer Transport Setup	123
	123
Small CD Layout - Channel Strin Mode	123
SSL Chanel Strip Soft Key & V-Pot Assignments	127
Large LCD Lavout - Meter Mode	129
Overview	129
Analogue	130
31- Band Real-Time Analyser (RTA)	131
UF1 LCD Messages	132
SSL 360° Software Messages	135
SSL Support - FAQs, Ask a Question and Compatibility	136
Safety Notices	138

# Overview (概要)

# SSL UF1 とは?

UF1は、非常にパワフルなワンフェーダーコントロールサーフェスです。

1つだけでなく2つの高品質ディスプレイ、フルモーター駆動の100mm フェーダー、ソフトな感触の耐久性のあるラバースイッチ、 重量感のあるジョグホイールを備え、そのすべてが耐久性のある金属シャーシに収められています。UF1は、DAW の包括的なコマ ンド (パン、センド、プラグインコントロールなど)に加えて、46個のソフトキーをワークフローに合わせてカスタマイズすることがで きます。さらに、UF1とSSL 360°はSSL Meter プラグインと直接統合されており、4.3インチのTFT LCDでメーターを見ることが でき、サーフェス自体からコントロールすることができます。UF1は単体でも使用できますが、SSL UF8と組み合わせることで、究極 のSSL DAW コントローラーシステムを構築することができます。また、UF1はSSL UC1プラグインコントローラーの拡張としても 最適で、プラグインミキサー対応のチャンネルストリップのパラメーターに直接アクセスすることができます。

# **Features**

- 100mmの高品質モーターライズドフェーダー
- 2つの高品質 LCD TFT ディスプレイ (DAW トラック名の識別を容易にする大型 4.3インチ TFT LCD を含む)
- パラメータ、時間表示、SSL Meter プラグイン、SSL プラグインミキサー対応のチャンネルストリッププラグインを表示
- 専用トランスポート・コントロールとウェイト・ジョグ/スクラブ・ホイール
- 専用のHUIおよびMCU DAWプロファイル 対応DAW: Pro Tools、Logic、Cubase、Studio One、Ableton Live、LUNA、Pyramix
- MCU プロトコル DAW の MASTER フェーダーをコントロールするように切り替えることができます。
- SSL 360° プラグイン・ミキサーレイヤーの独自制御:SSL Meter プラグイン(永久ライセンス付属)とシームレスに統合。
   4.3 インチの大型 IPS ディスプレイに表示されるメーター・プラグインと UF1 サーフェスからハードウェア・コントロールが可能です。
- SSL Meter は、ピーク & RMS レベル、Kシステム、ステレオバランス、位相相関バー、リサージュ、ベクトルスコープ、31 バンド RTA など、必要なメーターツールを提供します。
- UC1の機能を拡張:チャンネルストリップ2や4KBなど、360°対応のチャンネルストリッププラグインをUF1から直接コント ロールできます。またUF1の大型ディスプレイでEQカーブを確認することができます。
- プラグインミキサーのマスターモードでは、UC1で選択されているチャンネルストリップとは別のチャンネルストリップをUF1で コントロールすることができます。
- コンパクトながら充実した機能を持つDAWコントローラーで、DAWのパン、センド、プラグイン、バーチャルインストゥルメント を簡単にコントロールできます。
- 46個のカスタマイズ可能なユーザーキーは、お気に入りのDAWコマンドやキーボードショートカットを割り当てることができます。
- セカンダリートランスポートのキーは、ループのオン/オフやクリックトラックのオン/オフなど、ワークフローに不可欠なショート カットボタンにカスタマイズできます。また、Shift ボタンを押すと、DAW のオートメーション・モードに素早くアクセスできます。
- フェーダーモードでは、大型スクリーンの下にある4つのVポットを使って、4つのトラックのボリュームを同時にコントロール することができます。
- 大型のノッチ付きエンコーダーは、シングル・チャンネル・バンキング、マウス・ホイール・エミュレーション(フォーカス・モード)、 コンピューター・システムの音量コントロールが可能です。
- UF1単体での使用はもちろん、UF8やUC1と組み合わせることで、両製品の機能性を高めることができます。
- 2系統のフットスイッチ入力を装備。
- 最大3台のDAWを同時に接続し、Layerキーで切り替えることができます。
- SSL 360°ソフトウェア・アプリケーションを搭載しています。

### Safety Notices (安全に関する注意事項)

ご使用の前に、本書末尾の「**重要なお知らせ**」をお読みください。.

# **Get-Started**

# Unpacking (開梱)

本機は丁寧に梱包されており、箱の中には UF1 コントロールサーフェスに加えて、以下のものが入っています:



# **UF1** Physical Specification

**Dimensions** (UF1仕様寸法図) 幅205mm × 高さ265.9mm × 奥行き62.5mm

### Weight (重量)

未使用時(本体のみ):1.8 kg 梱包時:2.88 kg

# **Detailed Dimensions**



# Fitting The Stands (Optional) (スタンドの取り付け)

UF1は、お好みに応じて、付属のスタンドが使用できるように設計されています。付属のスタンドを取り付けると、本体を手前に向けることができるようになります。3種類の固定位置(穴は2つ1組)により、最適な角度を選ぶことができます。1つのスタンドにつき、2本のネジを使用してください。ネジ山が剥がれる恐れがありますので、締めすぎにご注意ください。トルク測定器をお持ちの方は、0.5Nmで締め付けてください。



#### Additional Elevation Angles (追加エレベーションアングル)

より急な仰角が必要な場合は、スタンドを回転させ、短い方の面を使ってシャーシに固定することができます。 これにより、さらに3つの角度から選択することができます。

1. ゴム足を回転させて外し、反対側の端に移動する

2. スタンドを回転させ、短い方をシャーシに固定する。



# Connecting Your UF1 Hardware (UF1 ハードウェアを接続する)

- 1. 付属の電源をコネクタパネルのDCソケットに接続します。
- 2. 付属の USB ケーブルのうち、1 本をパソコンから USB ソケットに接続します。



#### USB Cables (USB ケーブル)

UF1をコンピューターに接続するには、付属のUSBケーブル('C'-'C'または'C'-'A'に付属のアダプターを使用)を使用してください。 ケーブルの接続にアダプターが必要かどうかは、お使いのコンピューターで利用可能なUSBポートの種類によって決まります。新しい コンピュータには「C」ポートがあり、古いコンピュータには「A」ポートがある場合があります。UF1 側の USB と書かれたポートに 接続する場合は、C タイプの部分に接続してください。

### Connecting the UF1 to UF8 (UF1とUF8を接続する)

UF1とUF8を接続して使用する場合、THRUポート(USB'A'タイプ)を使用して2つのデバイスをリンクすることができます。 — これは、コンピュータ側は1つのUSBポートのみで接続できることを意味します



理論的には、上記の方法で4台のUF8と、UC11台、UF11台を連結させることができます。ただし、その場合、お使いのPC/Macで許容されるハブの段数を超えてしまう可能性があります。そのため、UF1は、PCの別のUSBポートに直接接続する必要がある場合があります。

**ヒント**: THRU ポートは、DAW ソフトウェアに必要なことが多い USB ドングルを接続するためにも使用することができます。

# Downloading SSL 360° Software and the SSL Meter Plug-in

(SSL 360° ソフトウェアとSSLメータープラグインのダウンロードについて)

UF1が動作するためには、SSL 360°ソフトウェアがコンピュータにインストールされている必要があります。 SSL 360°ソフトウェアは、UF1コントロールサーフェスの頭脳となるものです。 SSL 360°をSSLのウェブサイトからダウンロードしてください。メータープラグインもダウンロードしてください。



http://www.solidstatelogic.com/support/downloads



- 1. <u>solidstatelogic.com/support-page/downloads</u> にアクセスする。
  - 2. "Products" ドロップダウンリストから "UF1" を選択します。
- 3. MacまたはWindowsシステム用のSSL 360°ソフトウェアをダウンロードします。
- 4. SSL 360° Meter Plug-inを Mac または Windows システム用にダウンロードする。

# Installing SSL 360° Software (SSL 360° ソフトウェアのインストール)



#### Мас

- 1. ダウンロードした SSL 360°.dmg をコンピューター上に配置します。
- 2. ダブルクリックで.dmgを開きます。
- 3. ダブルクリックして、SSL 360°.pkgを実行します。
- 4. 画面の指示に従ってインストールを進めてください。
- 5. Meter プラグインも同様にインストールしてください。

### System Requirements (システム要件)

 SSL 360° Setup
 - □ ×

 Welcome to the SSL 360° Setup
 Walcome to the SSL 360° Setup

 Witzard
 This witzard will guide you through the installation of SSL 30°.

 Ute recommended that you dose all other applications before starting Setup. This without having to reboot your computer.

 Solid State Logic
 Click Install to start the installation.

#### Windows

- 1. ダウンロードした SSL 360°.exe をパソコンで探します。
- 2. ダブルクリックして、SSL 360°.exe を実行します。
- 3. 画面の指示に従って、インストールを進めてください。
- 4. Meter プラグインも同様にインストールしてください。

コンピュータのオペレーティングシステムやハードウェアは常に変化しています。お使いのシステムが現在サポートされているかどう かは、SSLのオンラインFAQで '<u>UF1 Compatibility</u>'を検索してご確認ください。 2023年6月現在:

**Mac:** 10.5 (Catalina)、11 Big Sur (Appleシリコン&インテル)、12 Monterey (Appleシリコン&インテル)、 13 Ventura (Apple Silicon & インテル)

Windows: Windows 10、Windows 11(第12世代インテルマシンを含む)

2.4GHz以上で動作するインテル第3世代Core i5(または同等のAMDプロセッサー) CPU、8GB以上のRAMを推奨

# **Registering Your UF1 - Redeeming and Authorising Your Meter Plug-in License**

(UF1の登録 - Meter Plug-inライセンスの引き換えと認証)

Meter プラグインライセンスを申請するには、SSLのウェブサイトにてユーザー登録と、UF1ハードウェアのシリアル番号を登録する 必要があります。



You may need to re-register old products. Find out more about the upgrade to new SSL Account portal here.



アカウントにログイン後、Dashboard ページの REGISTER PRODUCT をクリックし、次のページで REGISTER HARDWARE PRODUCT を選択します。

Solid State Logic		Dashboard 👤 My Account 🕞 Logout	
	Product Registration		
Register a new product			
PRODUCT			
SSL UF1		~	
DATE OF PURCHASE			
2021-05-06		8	
COUNTRY OF PURCHASE			
Country		~	
PRODUCT SERIAL NUMBER			
1			
		SUBMIT DETAILS	
	The serial number can be found on the base of the unit. It is is For example XX400115C1D4SDCYG2L4. The dashes will be if you have issues registering, please try another browser fir the serial number and contact Product Support with your bro	not the number on the packaging box. e added automatically by the form. It. If you have further issues, attach a photo of warr and OS version.	

SSL UF1 を選択し、フォームに入力してください。

UF1のシリアル番号を入力する必要があります。シリアル番号は、UF1本体の底面に貼られているラベルに記載されています以下の黄 色部分を全て入力してください(梱包箱に記載されている番号ではありません)。



UF1の登録に成功するとダッシュボードにUF1が表示されます。「Get Your Additional Software」をクリックします。

UF1 - SSL Meter	VALIDATE YOUR ILOK ACCOUNT	
Included with every UF1 is a license for SSL Meter. Follow the steps below to redeem your license. Please note, the license is not	iLok User ID	
SSL plug-ins are protected with iLok software licensing, you'll need to create an iLok account and download iLok license manager to authorise the license onto your computer or physical iLok dongle. Please do the following:		VALTUATE
<ol> <li>Create an iLok account.</li> <li>Download and install iLok License Manager.</li> <li>Enter your iLok User ID in the box opposite on this page and click 'Validate'.</li> </ol>		
If successful click 'Deposit License'. 4. Open iLok License Manager and authorise your SSL Meter license onto your computer or physical iLok. 5. Developed and install the SSL Mater plug is installer from the Developed		
page.		

このページで、iLokのユーザー IDをボックスに入力し、iLokアカウントが認証されるのを待ち、DEPOSIT LICENSE をクリックします。

i LOK License Manager		All Licenses (10	078) <b>Available (267)</b>	All Activations (755)	Unavailable (469)	Hidden (0)
	I	Valid Locations	Product Name	_	Publisher Nam	ie
			SSL Meter	Show Details	Solid State Log	lic
				Hide Details		
				Activate		

最後に、iLok License Managerを開き、Avilableの中からSSL Meter プラグインライセンスを探します。 ライセンスを右クリックしてActivate (もしくは直接ドラッグ)してコンピュータまたはUSB iLok内にアクティベートしてください。

# UF1 YouTube Tutorials (UF8 YouTube チュートリアル)

SSLのYouTubeチャンネルでは、UF1のセットアップやDAWでの使用方法について、詳細なチュートリアルを公開しています。

$\leftarrow \rightarrow \bigcirc$ http://www.youtube.com/user/SSLvideos
<b>SSLvideos</b> Solid State Logic YouTube Channel
Q SSL UF8

# Keyboard Identify (Mac Only) (キーボードの識別 - Mac のみ)

UF1の特別な機能のひとつに、お気に入りのDAWショートカットのキーボードコマンドをトリガーする機能があります。これらはSSL 360°ソフトウェアを使って割り当てますが、これについてはこのユーザーガイドの後半で説明します。







「続行」をクリックします。

STEP 1. Mac の「システム環境設定」を開き、「キーボード」を選択し、「キーボードの種類を変更」をクリックします (UF1 は USB ケーブルでコンピュータに接続されている必要があります)、「続ける」をクリックします。



STEP 2.「キーボードの識別」が表示され、「Shift キーのすぐ右のキーを押してくださ い」と表示されたら、この時点で UF1 の 360° キーを押しながら、UF1 の右上のソフト キーにある MacKeyID ボタンを押します。 ョン (ヨーロッパ、アメリカ、日本)を選択 し、「完了」をクリックします。

# **UF1 Hardware Layout** (UF1 ハードウェアレイアウト)

# Front Panel (フロントパネル)

このセクションでは、UF1サーフェスのフロントパネルについて説明します。

各機能やモードについて包括的に説明するのではなく、概要を説明することを意図しています。各DAWとの連携については、それぞれのDAW用ガイド(別紙のチュートリアル)をご参照ください。



#### 1-スモールスクリーン上ソフトキー

V-Potの特定のパラメータをコントロールすることができます。このキーの動作は、DAWによって異なります。

#### 2 - **スモールスクリーン**

カラー LCD TFT は、トラックメーター、トラック名 V-POT 表示、トラックレコードアーム状態などを表示します。

#### 3 - スモールスクリーン下 V-Pot

「V-Pot」は「バーチャルポット」の略で、パンポジション、センドレベル、プラグインパラメーターなど、様々な DAW パラメーターをコントロールするために使用されます。スモールスクリーン下の V-Pot は、フェーダー上に表示されている現在選択されているチャンネルの様々なパラメータを制御します。

#### 4 - 100 mm モーターライズドフェーダー

タッチセンサー付きの高品質なモーターライズドフェーダーです。

#### 5 - YD, カット, セル

すべての DAW に搭載されている最も一般的なコントロールです。

#### 6 - FLIP +-

FLIPは、現在のV-Potパラメータをフェーダーに割り当てるために使用され、センドレベルのコントロールに使用されることがあります。

#### 7- マスター・キー

フェーダーをDAWのマスターフェーダーをコントロールするように変更します。これはDAWによって異なり、すべてのDAWで利用できるわけではありませんのでご注意ください。

#### 8-ラージスクリーン上ソフトキー (4つ)

4つのソフトキーは、V-Potの各種パラメータや、最大40のユーザー割り当て可能なキー(10ページにわたる)にアクセスすることができます。各キーの機能を示すラベルは、ラージスクリーンの上部に表示されます。

#### 9 - **ラージスクリーン**

大型のカラー LCD TFT は、DAW の時間表示、トラック名、V-Pot パラメータの読み出しなどを表示します。 SSL Meter プラグインもここで 表示されます。

#### 10 - ラージスクリーン下 V-Pot (4つ)

「V-Pot」とは「バーチャルポット」の略で、パンポジション、センドレベル、プラグインパラメーターなど、様々なDAWパラメーターをコント ロールするために使用されます。

#### 11 - 360°/レイヤーキー

短く押すと、コンピュータ画面上のSSL 360°ソフトウェアが開き、もう一度押すと最小化されます。 長押しすると、大画面の上部に表示されるDAWのレイヤー選択が開き、4つのソフトキーの1つで選択することができます。

#### 12 - BANK <> +-

DAWのトラックをUF1コントロールサーフェスに取り込み、バンクさせることができるキーです。

#### 13 - MODE & 5-8 +-

MODE キーは、SSLメーター・プラグイン・コントロールへの直接アクセスを可能にするだけでなく、DAW に依存する様々なコントロール 状態を切り替えます。5-8 キーは、V-potのコントロール範囲を、選択した 1~4 チャンネルだけでなく、8 バンクの 5~8 チャンネルに拡大 します。 14-< >キー これらのキーは、10個のソフトキーページをページ送りします。

#### 15 - 大型ノッチ付き CHANNEL エンコーダー

大型エンコーダーは、いくつかの異なるモードで機能することができます:

- <>- エンコーダーは DAW トラックを一度に1つずつバンクします。
- NUDGE モード (Pro Toolsのみ) エンコーダーを使用して、選択したオーディオリージョンを現在設定されている Nudge 値で 移動することができます。
- FOCUS モード このモードは、大型エンコーダーの操作をマウスホイールのスクロールエミュレーションに変え、プラグインを コントロールするのに適しています。コンピュータのマウスを目的のコントロールに合わせ、エンコーダを回す だけです。このモードの感度は、お使いのコンピュータのマウススクロールの感度設定によって決定されます。
- VOLUME モード このモードでは、現在アクティブなオーディオインターフェイスでシステムオーディオレベルを制御できる場合、 チャンネルエンコーダーをボリュームコントロールとして動作させることができます。

#### 16 - **カーソル** キー/モード キー

標準操作では、これらのキーは、DAW タイムラインのズームや、プラグインスロットの選択 (Logicのみ) などの重要なタスクを含むさま ざまな機能を実行します。

#### 17 - ジョグ・ホイール

DAWのタイムラインを移動するための大きなジョグ・ホイールです。

#### 18 - **スクラブ** キー

ジョグホイールをスクラブモードにします。

#### 19 - **トランスポート・キー**

DAWの巻き戻し、送り、停止、再生、録音コマンドをコントロールします。

#### 20 - セカンダリー・トランスポート・キー

これらのキーは、最も一般的な DAW のトランスポートコントロールを拡張するもので、ほとんどの DAW プロファイルでは、ループのオン/オフ、メトロノームのオン/オフなど、一般的な機能があらかじめ割り当てられています。これらの 6 つのキーは、SSL 360° でカスタマイズ可能です。

#### 21 - SHIFT +-

SHIFT キーを押すと、セカンダリートランスポートキーを利用して、DAW のオートメーションモードにアクセスできます。 オフ、リード、ライト、トリム、タッチ、ラッチ (DAW 依存) など、SEL キー と組み合わせて使用すると、DAW の選択トラックをご希望のオ ートメーションモードにすることができます。

# Connector Panel (背面コネクタパネル)



UF1の背面の凹んだ部分にはコネクターが搭載されています。

**USB** - 'C'タイプコネクター

付属の USB ケーブルをコンピュータから UF1の USB-C ポートに接続します。SSL 360° ソフトウェアアプリケーションを介した DAW と UF1 間の通信をすべて処理します。

**THRU** - 'A' タイプコネクター

UF1とUF8/UC1をチェーン接続する際に使用するUSBハブで、各ユニットを個別にコンピューターに接続する必要はありません。 また、USBドングルを接続することも可能です。

**DC**コネクター

付属のAC/DCパワーサプライを使用して、UF1に電力を供給します。

FS1 & FS2 - 1/4" ジャックコネクター

フットスイッチを接続し、DAW コマンドやユーザー割り当てのキーボードショートカットシーケンスをトリガーするために使用できます。

UF1は、BOSS FS-6 (他のブランドでも使用可能) などのフットスイッチの動作 (または極性) が「ノーマルクローズ」 である一般的なフットスイッチでテストされています。 これらのフットスイッチは極性を変えることができる場合があります。

フットスイッチは、「ノーマルクローズ」動作用に設計されたものを使用し、また、完全な互換性を確保するために、モメンタリ動作(スイッ チがロックしない)のフットスイッチを使用するか、モメンタリに設定できるフットスイッチを選択してください。これにより、割り当てられ た DAW コマンドで正しく動作するようになります。

# SSL 360° Software Overview (SSL 360° ソフトウェアの概要)

# **Overview & Home Page** (オーバービュー&ホームページ)

SSL 360°ソフトウェアは、UF1コントロールサーフェスの「頭脳」であるだけでなく、360°対応デバイスの新しいバージョンのソフトウェア やファームウェアをダウンロードすることができるコマンドセンターでもあります。

#### **HOME** 画面です:



1 - メニューツールバー SSL 360°の各ページを移動するためのツールバーです。

2 - **ソフトウェアの更新** ボタン

ソフトウェアのアップデートが可能になると、「ソフトウェアのアップデート」ボタン(上写真)が表示されます。 これをクリックすると、ソフトウェアのダウンロードとアップデートができます。

3-接続されているユニット

お使いのコンピューターに接続されている360°対応機器(UF1含む)が、それぞれのシリアル番号とともに表示されます。 接続後、ユニットが検出されるまで10~15秒程度かかります。

#### 4 - ファームウェアのアップデート

UF1のファームウェアがアップデートされると、各ユニットの下に「Update Firmware」ボタンが表示されます。このボタンをクリック すると、ファームウェアの更新が開始されます。更新中は、電源やUSBケーブルを抜かないようにしてください。

#### 5 - スリープ設定

このボタンをクリックすると、ポップアップウィンドウが開き、接続した360°コントロールサーフェスがスリープモードに入るまでの時間を設定することができます。コントロールサーフェスをスリープモードから強制的に解除するには、サーフェスのいずれかのボタンを押すか、サーフェス本体のいずれかのコントロールを動かします。スリープモードを無効にするには、ボックスのチェックを外すことができます。



#### 6 - **About**

クリックすると、SSL 360°に関するソフトウェアライセンスの詳細がポップアップウィンドウで表示されます。

#### 7 - SSLソーシャル

下部のバーには、SSL ウェブサイト、サポートセクション、SSL Socials へのクイックリンクがあります。

#### 8 - エクスポートレポート

UF1やSSL 360°のソフトウェアに問題が発生した場合、サポートエージェントからエクスポートレポート機能の利用を求められることがあります。この機能は、お使いのコンピュータシステムとUF1に関する重要な情報、およびSSL 360°の動作に関連する技術ログファイルを含むテキストファイルを生成し、問題の診断に役立てることができます。EXPORT REPORT をクリックすると、生成された.zip ファイルをエクスポートするコンピュータの保存先を選択するように指示されます。

#### 9 - SSL 360° ソフトウェアのバージョン番号

このエリアには、お使いのコンピューターで実行されているSSL 360°のバージョン番号が表示されます。バージョンのテキストをクリックすると、SSLウェブサイトのリリースノート情報が表示されます。

# Control Setup Page (コントロールセットアップページ)

### DAW 設定

SSL 360°の CONTROL SETUPページでは、UF1で使用するDAWを最大3つまで指定することができます。DAW CONFIGURATION セクションで、ドロップダウン・リストを使用して最大3つのDAWを選択します。下図の例では、DAW1にPro Tools、DAW2にLogic Pro、DAW3にCubaseが設定されています。このページでDAWを指定すると、UF1ページで各UF1レイヤーに割り当てることができるようになります(詳細は次ページ以降)。

**DAW 1 (LAYER 1)**: SSL V-MIDI ポート 1-4 **DAW 2 (LAYER 2)**: SSL V-MIDI ポート 5-8 **DAW 3 (LAYER 3)**: SSL V-MIDI ポート 9-12

$\geq$				
	DAW CONFIGURATION	DAW 1	DAW 2	DAW 3
$\odot$		SSL V-MIDI PORTS 1-4	SSL V-MIDI PORTS 5-8	SSL V-MIDI PORTS 9-12
-	PLUG-IN MIXER TRANSPORT	TRANSPORT LINKED TO:		

DAWをドロップダウンリストから選択します。1つのDAWしか使用しない場合は、DAW 2とDAW 3は「なし」に設定します。



DAWドロップダウンリスト

Plug-in Mixer Transport (プラグインミキサーのトランスポート)

UF1のレイヤーがSSL 360° プラグインミキサーのコントロールに設定されている場合、UF1下部のトランスポートキーとジョグホイールが、DAW のトランスポートコマンドを操作します。

UF1のこれらのボタンとプラグインミキサーのトランスポートをリンクする場合は、ここのドロップダウンリストより選択する必要があります。 DAW CONFIGURATION の項目で指名した3つのDAW の中から選択

DAW CONFIGURATION の項目で指名した3つのDAW の中から選択 することになります。



# Switching the control layer from UF1 (Layer Set Up)

UF1 からコントロールレイヤーを切り替える (レイヤー設定編)

UF1では、設定した最大3つのDAWのLayerを切り替えることができます。これを行うには、360°ボタンを押したままにします。 押したまま、UF1上部のソフトキーで目的のDAW(またはプラグインミキサー)を選択します。



# UF1 Page (UF1ページ)

左側のメニューツールバーから選択できる UF1 ページは、UF1を DAW で動作させるための設定を行う場所です。また、ユーザーア サイン可能なキーのカスタマイズを行う場所でもあります。カスタマイズした DAW プロファイルは、SSL 360°をインストールした別 のコンピュータで作業する必要がある場合に、.xml ファイルとして保存およびロードすることができます。

•••					SSL 360°					
	UF1 — PROFILE — Default SAVE LOAD SAVEAS	DAVER 1 DAW 1 (Pro Tools) V PORT () REVERT 3 4	2 LAYER Daw 2 (Lo PORT	2 gic Pro) V REVERT	LAYER 3 DAW 3 (Cubase) V PORT () REVERT					
-	(7)	SOFT KEYS	USER BANK							n in the second s
					Pan 5 Cmd/Fine modifier Send A Send B	)/ / / /	PAN FINE SEND A SEND B	6		
		TRANSPORT								
				> Loop/Cycle Metronome Quick Key 1 Quick Key 2			END LOOP Click EDIT/MIX TRANSPORT			
		FOOT SWITCHES		Switch 1 Switch 2			FOOT STOP/PLAY			
		ADVANCED	TRANSPORT	This layer is the second se	e transport master					

#### 1 - **LAYER** タブ

UF1は3つの異なるDAWに同時に設定することができ、それぞれのDAWは「レイヤー」と呼ばれるものを占有しています。 1つのDAWしか使用しない場合は、1つのレイヤーしか必要ないと思われます。複数のDAW(またはDAWとSSL 360°プラグインミキサー)を使用する場合は、LAYER 2 または LAYER 3 タブをクリックするだけで、適切に設定することができます。

#### 2 - DAW/プラグイン・ミキサーのプロファイル選択

ドロップダウンリストを使用して、選択したレイヤーのDAWを選択するか、プラグインミキサーを制御するレイヤーを設定します。 選択できるDAWは、CONTROL SETUPページで行った選択によって決まります。詳しくは、このユーザーガイドの前ページをご覧く ださい。

#### 3 - **PORT INFO** (ポート情報)

PORT INFO をクリックすると、SSL V-MIDI のポートを正しく設定するための基本的な説明が表示されます。 (PORT INFO はすべての詳細をカバーしているわけではありません)。

#### 4- **REVERT** (リバート)

このLayerを工場出荷時のDAWプロファイルに戻すことができます。

5 - DAW コマンド/キーボードショートカットの割り当て

ペンマークをクリックすると、ユーザー割り当て可能なキーの割り当てを変更することができます。詳しくは次ページをご覧ください。

#### 6 - ショートラベル

キーボードを使用して、UF1 LCDのユーザーキーのすぐ下に表示させたいラベルを入力することができます。

#### 7 - プロファイル名と**SAVE/LOAD/SAVE AS** ボタン

カスタマイズした DAW プロファイルを .xml ファイルとしてコンピュータや接続されたハードディスクに保存することができます。 現在アクティブなプロファイルの名前は、これらのボタンの上に表示されます。保存したプロファイルに何らかの変更を加えた場合は、 プロファイル名の下に「unsaved changes」と表示されます。

#### Built-in Auto-Saving Feature (オートセーブ機能搭載)

SSL 360° ソフトウェアで変更した内容は、バックグラウンドで自動的に保存されるため、変更するたびに保存する必要がありません。

#### User-Assignable Keys (ユーザーアサイン可能なキー)

UF1には、ユーザーアサイン可能なキーが多数あります:

- 10ページのソフトキー x 4 (合計40キー) (ラージスクリーン上)
- 6 x セカンダリートランスポートキー
- 2 x フットスイッチ

これらのキーはすべて、DAW コマンドまたはキーボードショートカットシーケンスを割り当てることができます。

#### Assigning DAW Commands (DAW コマンドのアサイン)

ユーザー割り当て可能なキーのペンマークをクリックすると、 ポップアップウィンドウが表示され、DAW コマンドを選択できます。 ボタンに別の DAW コマンドを割り当てるには、利用可能な HUI / MCU コマンドのリストから1つを選択するだけです。 SHORT LABEL テキストフィールドには、このコマンドに付随して LCD に表示させたいラベルを入力することができます。利用可能な コマンドのリストは、選択した DAW によって異なります。

#### **Assigning Keyboard Shortcut Sequences**

(キーボードショートカットシーケンスを割り当てる)

キーボードショートカットまたはショートカットシーケンスを割り当てたい場合は、キーボードマクロオプションを選択します。選択したら、マウスカーソルを「Type your commands here...」と表示される領域にクリックし、キーボードを使って希望のショートカットコマンドを入力するだけです。複数のコマンドのシーケンスを追加する場合、各行の開始時に遅延を入力することができます。これは、DAWのウィンドウやメニューが開くのに時間がかかるようなDAW操作の場合に便利です。つまり、シーケンスが適切に実行されるように(実行が速すぎないように)、必要に応じてディレイを追加することができます。

間違ってもう一度やり直したい場合は、CLEAR ALL ボタンを使用する ことができます。また、各Xボタンで特定の行を削除することもでき ます。SHORT LABEL テキストフィールドには、このキーボードショー トカットシーケンスに付随してLCDに表示させたいラベルを入力する ことができます。





#### ADVANCED Setup Options (アドバンスド・セットアップ・オプション)

Transport Master (トランスポートマスター)

MIDIタイムコードでリンクされた複数のDAWを使用している場合、 3つのDAWプロファイルレイヤーのうち1つをトランスポートマス ターに指定することができます。これにより、UF1が別のDAWレイヤ ーを制御していても、トランスポートキーは常にトランスポートマスタ ーとして割り当てられたDAWからトリガーされることになります。

	ADVANCED	TRANSPORT	This layer is the transport master
--	----------	-----------	------------------------------------

ADVANCED Setup Options - HUI (アドバンスド・セットアップ・オプション - HUI)

以下のチックボックスオプションは、Pro Tools プロファイルの選択に対してのみ表示されます:



Always Fine Pan: このオプションを有効にすると、パンをコントロールする際に V-Potの動作が自動的に FINE モードに変更されます。また、回転中のパンポジションが LCD に表示されます。

Always Fine Sends: このオプションを有効にすると、センドをコントロールする際にV-Pot の動作が自動的に FINE モードになります。また、センドレベルが LCD に表示されます。

Show Auto State: このオプションを有効にすると、LCD の DAW メーターのすぐ上に、チャンネルごとの Pro Tools オートメーション状態 (READ/WRITE/TRIM) の表示が常時表示されます。TRIM が作動している場合、表示は TRIM と READ、TRIM と WRITE の間で点滅します。

"I wish I was blank, I wish I was blank, I wish I could thank, I wish I was blank" - Blank, The Smashing Pumpkins.

# **DAW Communication** (DAWコミュニケーション)

# SSL V-MIDI Ports (SSL V-MIDI ポート)

UF1 は、SSL 360° ソフトウェアの一部としてインストールされた特別な MIDI ドライバーを経由して、高速 USB MIDI 通信を使用して DAW と通信します。ドライバは、SSL V-MIDI と呼ばれる「仮想」 MIDI ポートとしてコンピュータシステム上に表示されます。

下の表は、SSL 360° ソフトウェアが UF1 に仮想 MIDI ポートをどのようにマッピングするかを示しています。

DAW LAYER	UF1 Unit
1	SSL V-MIDI Port 1
2	SSL V-MIDI Port 5
3	SSL V-MIDI Port 9

各 DAW は、MIDI コントローラーのセットアップ方法に若干の違いがあり、これらの手順は、各 DAW チュートリアルで詳細に説明されています。

### DAW Protocols (DAWのプロトコル)

SSL V-MIDI は、UF1 と DAW の間の通信手段を提供しますが、話されるプロトコル:言い換えれば「言語」)は、DAW が好む外部 コントロールサーフェスとの通信方法によって異なります。さらに、同じプロトコルを使用している DAW でも、そのプロトコルの適 用に違いがあります。各 DAW チュートリアルでは、各 DAW が選択したプロトコルの実装と、それが UF1 にどのように適用される かを説明しています。

#### HUI

HUI (Human User Interface) プロトコルは、Pro Tools が UF1 と通信するための方法です。UF1 を Pro Tools で使用する場合、 より優れたワークフローを提供するために、HUI 実装の上に SSL ソフトウェア独自機能を追加している部分があります。

#### MCP/MCU

Logic, Cubase/Nuendo、Live、Studio One、LUNA、Pyramix などの多くの DAW が UF1 と通信する方法として、MCP (Mackie Control Protocol)、通称「MCU」があります。MCU の実装は DAW によって異なり、従来、MCU コントロールサーフェスを使用していて Logic を使用していない場合は、ボタンに正しい機能が表示されるように、サーフェスに特別なオーバーレイを配置する必要 がありました。UF1 では、LCD のトップゾーンを利用して、そのすぐ上にあるボタンに配置されている機能のラベルを提供することで、特別なオーバーレイを必要としないようにサーフェスを設計しています。ボタンの機能とラベルは、現在ロードされている DAW プロファイルに応じて変化します。

### NATIVE INTEGRATION (SSL 360° プラグインミキサー)

(ネイティブインテグレーション)

SSL 360° プラグインミキサーの制御は、独自のプロトコルで行われるため、HUI や MCU を使用せず、ネイティブに行うことができます。

# Pro Tools with UF1 - Tutorial (Pro Tools - チュートリアル)

以下のチュートリアルでは、UF1のLAYER 1で Pro Toolsのデフォルトプロファイルを設定し、使用する方法を説明します。Pro Toolsを別のレイヤーに設定する場合は、UF1ユーザーガイドの「DAW 設定」セクションを参照して、お使いの DAW が正しい SSL V-MIDI ポートに 設定されていることを確認してください。

# SSL 360° Setup (SSL 360° セットアップ)

- 1. Mac または Windows コンピュータで SSL 360° のアプリケーションを開きます。HOME ページで、UF1 が SSL 360° で検出されたこと を確認します。
- 次に、UF1ページに移動し、ドロップダウンリストを使用してLAYER 1を Pro Tools に設定します。ドロップダウンリストから Pro Tools が選択できない場合は、最初にこれを行ってください。 CONTROL SETUP ページで DAW 1として設定されていないためです – 最初 にこれを行ってください。



STEP 1 : Open SSL 360° application. Check your UF1 has been detected.



STEP 2 : Select the default Pro Tools DAW profile from the UF1 page.

# Pro Tools Setup (Pro Toolsのセットアップ)

- 3. Pro Toolsを開きます。Setup Menu > MIDI > MIDI Input Devices... と進みます。このリストで、必要な SSL V-MIDI にチェックが 入っていることを確認します。例えば、UF1をレイヤー1で構成する場合は、SSL V-MIDI Port 1 Source にチェックします。
- 4. Setup Menu > Peripherals > MIDI Controllers タブに進みます。UF1 ユニットを HUI タイプとして設定します。Receive From を 次のように設定します。受信元を SSL V-MIDI Port 1 Source、送信先を SSL V-MIDI Port 1 Destination に設定します。



STEP 3 : Enable SSL V-MIDI Port(s) in Pro Tools.

STEP 5 : Configure the UF1 unit as a HUI type. Set Receive From as SSL V-MIDI Port 1 and Send To as SSL V-MIDI Port 1.

# Small LCD Layout (スモール LCD レイアウト)



Top Zone - 直上のソフトキーに割り当てられた機能を表示。

Auto State - トラックの現在のオートメーション状態を表示します。(SSL 360°で Show Auto が有効な場合)

Track Record Enabled (REC) - トラックが録音可能になったことを示します。

TrkNam - トラック名が表示されます。

FaderdB - 現在のフェーダー位置のレベル表示。

Label/Value - 現在 V-Pot に割り当てられているパラメータのラベルまたは値の表示。

DAW Track Metering - 12 セグメントトラックメーター + クリップ

V-Pot Readout Bar - 現在アサインされている V-Pot 機能のポジションを表示します。

トラックメーターのヒント: SSL 360°の DAW コマンドリストにある F1 コマンドは、トラックメーターのクリップをクリアしま す。このコマンドは、UF1 の設定可能なソフトキーのいずれかに割り当てることができます。また、このコマンドは、ソフトキー ページ7 の2番目のソフトキーにあらかじめ割り当てられています。

# Large LCD Layout (ラージ LCD レイアウト)



Soft Key Labels - 直上のソフトキーに割り当てられた機能の表示。

Timecode - 現在のタイムコードを Bars/Beats/Mins:Sec/Timecode/Feet+Frames/Samples で表示します。

Channel Mode - 現在の CHANNEL エンコーダーモードを示します。

Solo Active Indication - アクティブなソロトラックがあるかどうかを表示します。

V-Pot Assignment Mode - 現在の V-Pot Assignment Mode を表示します。(例:Pan)

Soft Key Page - 現在のソフトキーページ番号が表示されます。

Top Scribble - 現在のコントローラバンクのトラック 1-4 または 5-8 の4文字のトラック名が表示されます。

Low Scribble - 現在 V-Pot に割り当てられているパラメータのラベルまたは値の読み出しが表示されます。

V-Pot Readout Bar - 現在アサインされている V-Pot 機能のポジションを表示します。

V-Pots - 割り当てられたパラメータを制御する4つのV-Pot。

# Tutorial (チュートリアル)

UF1を Pro Tools で使用する方法を説明します。



### **V-Pot** (Vポット)

ストリップの上部には、V-Pot (バーチャルポット) があります。V-Pot の機能は、現在アクティブな V-Pot アサインモード (パン、センドなど) に応じて変化します。 これらのモードについては、次ペー ジ以降で説明します。

### 100 mm モーター駆動フェーダー

Pro Toolsのトラックを物理的にコントロールするモーターライズドフェーダーは、ミックスレベルのバランスを整えたり、ボリュームオートメーションを書き込むのに適しています。

#### Solo, Cut & Sel (選択)

UF1 のフェーダーストリップには、Pro Tools トラックのソロ、ミュート、セレクト機能に対応する SOLO、CUT、SEL キーが搭載されています。

SEL キーをダブル・プレスすると、Pro Tools のリネーム・トラック・ウィンドウがコンピュータ・スク リーンに表示されます。

#### **Flip** (フリップ)

FLIP キーを使って、センドをフェーダーにフリップすることができます。センドレベルを変更したり、ヘッドフォンミックスを作成する際に便利です。FLIP モードでは、V-Pot が現在選択されているセンドのパンを制御します。

#### Master (マスター)

Pro Tools では Master は無効です。

#### **Channel Encoder** (チャンネルエンコーダー)

CHANNEL エンコーダーを押すと、大型 LCD が変化し、利用可能な CHANNEL エンコーダーのモードが表示されます。 エンコーダーを回転させエンコーダーを回して希望のモードをハイライトし、もう一度押してモードを選択します。



S.C. O.C. O. I. O.B.         CHANNEL         <>       FOCUS       NUDGE       VOLUME         TonScrib 1       TonScrib 2       TonScrib 3       TonScrib 4	SOFT KEY 1	SOFT KEY 2	SOFT KEY 3	SOFT KEY 4
CHANNEL <> FOCUS NUDGE VOLUME TOPScrib 1 TopScrib 2 TopScrib 3 TopScrib 4	58	2. 02.	018	38
TonScrib 1 TonScrib 2 TonScrib 2 TonScrib 4	CHANNEL < >	FOCUS NU	DGE VOLUME	
	TopScrib 1	TopScrib 2	TopScrib 3	TopScrib 4
LowScrib 1 LowScrib 2 LowScrib 3 LowScrib 4	LowScrib 1	LowScrib 2	LowScrib 3	LowScrib 4

#### <> (バンクキー)

デフォルトでは、CHANNEL エンコーダーは、DAW のトラックを1チャンネルずつ UF1 サーフェス上で移動させるために使用されます。

#### Focus (フォーカス)

マウスのスクロール機能をエミュレートします。マウスのスクロール操作に反応するプラグインやその他のものを画面上でコントロールするのにとても良い方法です。プラグインの GUI を開き、マウスをコントロールの上に置いて、エンコーダーを回すだけで、実際に操作することができます。

#### Nudge (ナッジ)

ナッジモードでは、選択したオーディオリージョンを Pro Tools 内で設定したナッジ値だけ前後に移動させることができます。

#### **Volume** (ボリューム)

CHANNEL エンコーダーは、使用しているオーディオデバイスがオペレーティングシステムのボリュームアップ/ダウンで制御できる場合、システムのボリュームレベルを制御します。例えば、ヘッドホンをコンピュータの内蔵オーディオ出力に接続している場合などです。

#### Scroll Into View (スクロール・イントゥ・ビュー)

Pro Tools の「Scroll Into View」機能は、Pro Tools 内でトラックを選択し、UF1 をその選択に追従させる便利な方法です。

Pro Tools の選択されたトラック領域 (白い部分) でマウスを右クリックし、「Scroll Into View」を 選択するだけです。

Scroll Into View には、超便利なキーボードショートカットがあります: Shift + Ctrl + Pro Tools の GUI で選択されたトラック領域 (白い部分) をマウスでクリック します。



#### **CENTRE KEYS** (センターキー)

MODE ((1))

 MODE キーは、大型スクリーンと4つの V-Potの動作を決定します。
 MODE キーを押すと、さまざまなオプションが切り替わります。
 MODE ボタンを押し続けると、大型LCDの上部にあるソフトキーから 各モードに直接アクセスできます。各モードは色分けされています:

#### 一般的な DAW (白)

大型ディスプレイの下にある4つのV-Potは、現在のコントローラー バンクの4つのトラックにわたってパンまたはセンドを制御します。

#### DAW フェーダー (緑) - "FAdr"

V-Potは、現在のコントローラーバンクの4つのトラックのフェーダーレベルを制御します。レベルは、dBテキスト表示とV-Pot表示バーの両方で表されます。

#### プラグインコントロール (水色) - "PLUG"

V-Pot とソフトキーは、プラグインのパラメータをコントロールしま す。プラグインコントロールの詳細については、このチュートリアルで 後述します。

#### メーター・プラグイン (黄色)

V-Pot とソフトキーは、SSL 360°を介して、SSL Meter プラグインを 直接コントロールします。このモードはすべての DAW で共通なので、 詳しくはユーザーガイドの最後にある <u>SSL Meter コントロール</u>のセ クションを参照してください。

# 5-8 +- ( 2 )

現在のコントローラーバンクのトラック 5~8 を制御する V-Pot をアサインします。

# ソフトキーページバンク(3)

ソフトキーに割り当てられているパラメーターの各ページを移動することができます。また、プラグインコントロールモードでは、プラグインパ ラメーターのページを移動することができます。

# Bank $\neq -(4)$

バンクキーは、8の倍数でフェーダーセレクションを動かし、8のうち1番目のチャンネルがメインフェーダーと、1番目のチャンネルの両方に 表示されます。5-8を選択しない限り、4つのV-Potにまたがって表示されるチャンネルのうち、1番目のチャンネルが表示されます。



SOFT KEY	1 SOFT KEY 2	SOFT KEY 3	SOFT KEY 4
5	2. 02.		88
CHANNEL < >	SOLO ACTIVE	DR	SOFT KEYS 1/10
Kick	Snare	Hat	Bass
-2.1dB	-3.5dB	4.1dB	0.0dB

上図は DAW フェーダー "FAdr " モードが選択されている 状態です。大画面下の V-Pot で DAW フェーダーのレベルを コントロールします。



360° ボタンを短く押すと、SSL 360° アプリケーションを開閉し、UF1 や他の SSL 360° 搭載デバイスの編集設定や割り当て可能なキーにア クセスすることが可能です。360° ボタンを長押しして、関連する最上段 のソフトキーを押すと、別の DAW またはプラグインミキサーのレイヤ ーに切り替えることができます。

DAW 1	DAW 2	Plug-in
Pro Tools	Logic	Mixer

360°ボタンを長押ししたまま、最上段のソフトキーを押すこと で、別のレイヤーに切り替えることができます。

# SCRUB **‡**- (**6**)

SCRUB キーは、ジョグホイールをスクラブモードにします。DAW のタイムラインをスクロールし、プレイヘッドがジョグホイールの回転速度 でオーディオを再生します。ジョグホイールの回転速度でオーディオを再生しながら、DAW のタイムラインをスクロールします。



ジョグホイールは、セッションタイムラインのスクロールに使用します。 ジョグホイールを時計回りに動かすと再生ヘッドがタイムラインを前進 し、反時計回りに動かすと後進します。

また、ジョグホイールを動かして SHUTTLE モードにすることも可能 で、ソフトキーページバンク 10 のソフトキー 3 にあらかじめ割り当て られています。



Cursor Keys and Mode Key (カーソルキーとモードキー)



ジョグホイールの左側にはカーソルキーがあり、中央にはモードキーがあります。

モードキーが点灯しているときは、カーソルキーが水平および垂直方向にズームします。

モードキーをもう一度押すと、左右のカーソルがオーディオクリップの編集ポイント間を移動し、Pro Tools で Tab To Transient が有効な場合 はトランジェント間のタブになります。上下に動かすと、編集カーソルがトラック間に移動します。

#### **Transport Controls** (カーソルキーとモードキー)

UF1 では、最下段に専用のトランスポートキー、その上部にセカンダリートランスポートキーを配置しています。セカンダリートランスポート キーには、ループのオン/オフやクリックのオン/オフなど、DAW でよく使われる機能があらかじめ割り当てられています。セカンダリートラン スポートキーは、360° ソフトウェアアプリケーションで再割り当てが可能です。また、セカンダリートランスポートキーを DAW のオートメー ションモードに再利用するためのシフトキーも用意されています。



#### Transport Keys (トランスポートキー)

主要なトランスポートキーは、DAW内の主要なトランスポートコマンドに便利にアクセスすることができます。 左から右へ:巻き戻し、早送り、停止、再生、録音。

#### Secondary Transport Keys (セカンダリートランスポートキー)

セカンダリートランスポートコントロールは、DAW 内で頻繁に使用される他の機能に素早くアクセスすることができます。これらのキーは、 SSL 360°で再割り当てすることができます。デフォルトのマッピングは以下の通りです: Return to Zero、Go to End、Loop on/off、 Metronome/Click on/off、2つのクイックキーです。Pro Tools では、クイックキー1はミックス&エディットウィンドウの切り替え、クイック キー2はトランスポートウィンドウのオープン&クローズにプリセットされています。

#### Shifted Functions of the Secondary Transport Keys - Automation Modes

(セカンダリートランスポートキーの機能変更 - オートメーションモード)

セカンダリートランスポートキーの下に、追加のラベルがあることにお気づきでしょうか。これらの機能は、SHIFT ボタンを押すことでアクセスでき、Pro Toolsのオートメーションモードにアクセスすることができます。



#### Automation (オートメーション)

UF1 フェーダーに表示されている DAW トラックのオートメーションモードを選択するには、まず SEL キーを押す必要があります。次に、 SHIFT キーを押して、セカンダリートランスポートキーをオートメーションキーに変更します。最後に、希望するオートメーションモードに合致 するセカンダリートランスポートキーを押します。



STEP 1: SEL キーでトラックを

選択します。

OFF READ WRT STEP 2: SHIFT KEY を押して、セカンダリートランスポートキーをオートメーションキーに 利用します。



STEP 3: ボタンを押して、トラックを設定したいオートメーションモードを選択します。

TRIM

1

LTCH

2

TCH

#### Show Auto State (オートステートを表示する)

SSL 360°の UF1 ページの「ADVANCED」に、「Show Auto State」のチェックボックスがあります。これを有効にすると、次のことが可能 になります。LCD の左上に、各トラックの現在のオートメーション状態(READ、WRITE、TRIM)が常に表示されます。



READ	REC ●

#### V-Pot Assignments (V-Pot アサインメント)

General DAW (一般DAWモード) および DAW Faders (DAWフェーダーモード) では、UF1 の上部にあるソフトキーを使って、パンやセンドなど様々な V-Pot アサインモードにアクセスすることができます。

Cut			
PAN	FINE	SEND A	SEND B
58	2. 02.	011	38
CHANNEL < >	Pf	Ĩŀ	SOFT KEYS 1/10
Kick	Snr	Bass	Vox
Pan □□□□□■□□□□□	Pan □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	Pan □□□□□■□□□□□	Pan □□□□□■□□□□□



#### **Pan** (パン)

チャンネルの PAN ポジションをコントロールする V-Pot を設定します。V-Pot をクリックすると、PAN はセンターポジションに戻ります。ステレオチャンネルの場合、PAN ポジションは左チャンネルに影響しますが、PAN キーをもう一度押して右チャンネルをコントロールするように変更することができます。PAN ソフトキーが点滅して右側で動作していることを示し、画面中央の V-Pot Assignment テキストには PANR と表示されます。PAN キーをもう一度押すと、左側のコントロールに戻ります。

#### **Fine** (ファイン)

パンまたはセンドを操作している V-Potを回しているときに FINE キーを長押しすると、細かい解像度で操作することができます。ファインモードでは、画面上に数値が表示されます。

パンやセンドモードで V-Potを回すたびに自動的にファインモードになる設定: SSL 360°の UF1 ページの ADVANCED 設定で「Always Fine Pan」「Always Fine Sends」を有効にすることが可能です。
Pro Tools Tutorial

### Sends - Level (センド - レベル)

SEND A-E と書かれたソフトキー (ソフトキーページ1、2 内にあります) は、A~E のセンドレベルをコントロールしま す。 V-Pot の表示バーには、LCD に表示されたセンドポ ジションが表示されます。V-Potを押すと、センドは 0dB に なります (ただし、SEND DLFT 機能が有効な場合)。



センド F~Jは、コントロールできないためアサインすること はできません。V-Pot にセンドをアサインするには、適切なソフトキーを使用してコントロールしたいセンドスロット (A-E) を選択します。 Send Slot ソフトキーをもう一度押すと、Bus Assignment の名称がスクリーンに短く表示されます。現在のチャンネルバンクのチャンネル

に、そのセンドスロットにアサインされたセンドがある場合、そのレベルが V-Pot の表示バーに表示されます。そのチャンネルにセンドがアサインされていない場合、下のスクリブルストリップは空白のままです。 FINE キーを長押しすると、センドレベルを調整する際に、より細かい解像度と数値表示を確認できます。

#### **Flip** (フリップ)

FLIP キーでセンドをフェーダーにフリップさせることができます。V-Pot の代わりにフェーダーを使ってセンドレベルを調整したり、ヘッドフォンミックスを作成する際に便利です。FLIP モードでは、V-Pot がセンドのパンをコントロールします。



### Sends - Pre/Post (センドのプリ/ポスト)

SEND DFLTキー(ソフトキーページ3、1番目のキー)を解除すると、センドのプリ/ポスト状態をコントロールできるようになります。 フェーダーストリップに表示されているチャンネルでは、小さなディスプレイの上にあるソフトキーで操作できます。大型ディスプレイを挟ん で表示されているチャンネルでは V-Pot プッシュ機能でプリ/ポスト状態をコントロールします。



### **Sends - Mute** (センドのミュート)

**MUTE** キー (ソフトキーページ3、2番目のキー)をオンにすると、センドのミュートをコントロールすることができます。フェーダーストリップ に表示されているチャンネルでは、小さなディスプレイの上にあるソフトキーで操作できます。大型ディスプレイに表示されているチャンネル では、V-Pot プッシュ機能でセンドミュートをコントロールします。



1) - SEND MUTE キーを押すと、センドミュートのコントロールができます。

**(2)**- 小型LCDソフトキー - 押すとフェーダーストリップ上のチャンネルのセンドミュートのオン/オフが切り替わります。

(3) - 大型 LCD V-Pot - 大型スクリーンの下にある V-Potを押して、これらのチャンネルの センドミュートをコントロールします。

### Plug-in Mode (プラグインモード)

プラグインモードでは、選択したトラックのインサートA~Eのプラグインパラメーターをスマートにコントロールし、同時にプラグインGUIを 自動的に開きます。プラグインはすでに Pro Tools に Insert されている必要があります。

- 1. プラグインモードに入るには、MODEキーを押し、水色に点灯してディスプレイの中央にPLUGと表示されるまで循環させます。 または、MODEボタンを長押しして、ソフトキーの最上段からPLUGINオプションを選択します。
- 2. フェーダーチャンネルの SEL キーを使って、トラックを選択します。
- 3. スモールディスプレイの下にある V-Potを回してインサートスロット (A-E)を選択し、V-Potを押して選択します。使用可能なパラメータは 大型ディスプレイに表示され、その下にある 4 つの V-Potから操作できます。また、スイッチ機能も利用できる場合があります。(プラグイ ンに依存)上部の 4 つのソフトキーから操作できます。
- 4. ページ < > キーを使って、プラグインが表示するパラメーターの各ページをナビゲートします。



STEP 1: PLUGIN キーを押 してプラグインモードに入る - MODE ボタンが水色に点灯 します。



STEP 2: SEL キーでトラック を選択します。











STEP 3: V-Pot でインサート スロットを選択し、インサート スロット A~Eをスクロールし てプッシュしてロードします。

STEP 4: ページキーを使って、 プラグインパラメーターのページを 移動します。



プラグインモードでの作業

- DAW コマンドリストにある F5 コマンド (ソフトキーページ7、2番目のキーに割り当て済み) により、V-Pot を Fixed と Velocity-Sensitiveモードの間で切り替えることができ、これらは特にプラグインをコントロールする際に適用されます。プラグインによっては、Fixed Sensitivityの方が反応するものもあれば、Velocity-Sensitiveモードの方が良いものもあります。
- Pro Toolsのセッションで、現在選択されているインサートスロットの周囲に薄く青い輪郭が表示されます。
- 各プラグインのパラメータは、V-Pot 1~4 とソフトキー 1~4 に表示されます。
- プラグインバイパスは、フェーダーチャンネルのスモール LCD スクリーンの上にあるソフトキーを選択することで切り替えることができ ます。COMPARE 機能を使用する場合は、FLIP キーを押すことで、ソフトキーが切り替わります。
- インサートスロット F~Jは、UF1から直接選択することはできませんが (Pro Tools では利用できません)、トラックを選択してスロット A~E でプラグインを開いたら、Pro Toolsの画面上で F~Jのいずれかのインサートスロットをマウスでクリックすると UF1 サーフェス でパラメータを制御することができます。
- プラグインモードでプラグインパラメーターをオートメーション化する場合、書き込み可能なオートメーション状態にあるプラグインパラメーターには、次のような表示がされます。オートメーションを書き込むと、現在の V-Pot バーセグメントが点滅し、その後、点灯に変わります。

### Meter Plug-In Mode (yellow) (メータープラグインモード: 黄色)

メータープラグインモードでは、SSL 360°を介して SSL Meter プラグインを直接制御することができます (HUI プラグインコントロールを 介さない)。このモードはすべての DAW に共通するため、詳細についてはこのユーザーガイドの最後にある <u>SSL Meter control のセクショ</u> <u>ン</u>を参照してください。

### Soft Key Pre-Assignments (ソフトキー・プリ・アサインメント)

ソフトキーページ 1~10 では、UF1 の上部にある 4 つのソフトキーで、様々な DAW コマンドやキーボードショートカットにアクセスすること ができます。もちろん、SSL 360°の UF1 ページで、利用可能な DAW コマンドや独自のキーボードショートカットシーケンスに変更すること ができます。 ページキー <> とソフトキーを使って、さまざまなページを移動します。

SOFT KEY	S PAGE 1			SOFT KEY	S PAGE 2		
PAN	FINE	SEND A	SEND B	SEND C	SEND D	SEND E	FINE
SOFT KEYS	S PAGE 3			SOFT KEY	S PAGE 4		
SEND DFLT	MUTE	PREV MARK	IEXT MARK	DEFAULT	Opt/All	QUICK PUNCH	SUS AUTO
SOFT KEY	S PAGE 5			SOFT KEY	S PAGE 6		
EDIT TOOL	EDIT MODE	EDIT/MIX SE	SSION WIN	AUD IN	AUD OUT	AUDITION	AUD PRE
SOFT KEY	S PAGE 7			SOFT KEY	S PAGE 8		
AUD POST	F1	F5	F8/ESC	Ctrl	Opt/All	FINE	Shift/All
SOFT KEY	S PAGE 9			SOFT KEY	S PAGE 10		
SEPARATE	CUT	СОРҮ	PASTE	REC ARM	REC ARM ALL	SHUTTLE	Keystroke

# Assignable DAW Commands List - Pro Tools (アサイン可能な DAW コマンドリスト - Pro Tools) SSL 360°では、以下の DAW コマンドを、ユーザー割り当て可能なキーに割り当てることが可能です。

Edit/Mix Alternate	Edit Cut
Mix to foreground	Edit Copy
Edit to foreground	Edit Paste
Open/close Transport window	Edit Delete
Open/close Memory Locators window	Status Auto
Open/close Session Setup window	Status Monitor
Open/close plug-in editor	Status Group
Undo	Group Suspend
Ctrl Modifier	Group Create
Save Session	Play Foot-switch
Suspend Automation	Record Foot-switch
Auto Enable Plug-in	Scrub
Auto Enable Pan	Shuttle
Auto Enable Fader	Default
Auto Enable Send Mute	Kpad Clr
Auto Enable Send	Kpad =
	Knad *
Ontion/Alt modifier	Kpad -
Cmd/Eine modifier	Kpad +
Shift/All modifier	Kpad I
Edit Tool	Knad Enter
Edit Mode	Kpad 0
Ekey 1	Kpad 1
Ekey 5	Kpad 2
Fkey 8/Esc	Kpad 3
Audition	Kpad 4
Audition Pre	Kpad 5
	Kpad 6
Audition Out	Kpad 7
Audition Post	Kpad 8
BT7	Kpad 9
End	Send A
Online	Send R
Loop	Send B
	Send C
Forward	Send D
Bewind	Send E
Stop	
Play	Muto
Pagard	
Next Marker	
	Click
Last Ividi Kei	
	UF I Sena Detault
Euli Separate	

# Logic with UF1 - Tutorial (Logic - チュートリアル)

以下のチュートリアルでは、UF1のLAYER 1にデフォルトのLogic Proプロファイルを設定し、使用する方法を説明します。別のレイヤーでLogicを設定する場合は、UF1ユーザーガイドの「DAWCommunication」セクションを参照してお使いのDAWが正しい SSL V-MIDI ポート に設定されていることを確認してください。

### SSL 360° Setup (SSL 360°のセットアップ)

- 1. Mac または Windows コンピュータで SSL 360° アプリケーションを開きます。HOME ページで、UF1 が SSL 360° で検出されたこと を確認します。
- 2. UF1 ページに移動し、ドロップダウンリストを使用して Layer 1 を Logic に設定します。ドロップダウンリストからLogicが選択できない 場合は、 <u>CONTROL SETUP</u> ページで DAW 1 として設定されていないためです - 最初にこれを行うようにしてください。.



STEP 1 : SSL 360° アプリケーションを開き UF1 が SSL 360° で検出されたことを確認します

LAYER 1	
DAW 1 (Logic Pro) 🛛 🔻	
PORT () REVENT	

STEP 2: UF1ページに移動し、ドロップダウンリスト を使用してレイヤー1をLogic に設定します

### Logic Setup (Logic のセットアップ)

- 3. Logic を開きます。Control Surfaces > Preferences... と進み、Advanced タブを表示します。[追加オプション] セクションを全て有 効にしてください。
- 同じ Preferences メニューで、Control Surfaces > General タブを開き、「Multiple Controls Per Parameter」が「1」に設定され、 「Only when all parameters fit one page」のチェックが外されていることを確認します。また、「Maximum MIDI Bandwidth」を100% に増やします。
- 5. Help Tags タブで、'Parameter name' と 'Parameter value' が両方ともチェックされていないことを確認します。



STEP 3 : Advanced タブを表示し、 [追加オプション] セクションを全て有効 にしてください

STEP 4 : Control Surfaces > General タブ を開き、「Multiple Controls Per Parameter」 が「1」に設定され、「Only when all parameters fit one page」のチェックが外 されていることを確認し、「Maximum MIDI Bandwidth」を 100% に増やします。

STEP 5 : 'Control Surfaces' > Help Tags' タブで、'Parameter name' と 'Parameter value' が両方ともチェック されていないことを確認します

6. Preferences > MIDI に移動し、Inputs タブを選択します。このリストで、必要な SSL V-MIDI にチェックが入っていることを確認します。 例えば、UF1 がレイヤー 1 で動作している場合、SSL V-MIDI Port 1 Source にチェックを入れます。

※ Logic 10.5 より前のバージョンでは、「Inputs」 タブが利用できない場合があります。その場合、すべての MIDI ポートが デフォルトでオンになっているので、この手順を省略することができます。

7. Control Surfaces > Setup に移動します。ウィンドウの左上にあるドロップダウンリストから、New > Install... をクリックします。リストから Mackie Designs | Mackie Control | Logic Control を選択し、Add ボタンをクリックします。ウィンドウに追加された Mackie Control の画像をクリックし、左側のデバイスセットアップオプションリストで、Output Port を SSL V-MIDI Port 1 Destination に、Input Port を SSL V-MIDI Port 1 Source に設定します。

<b>နိုင်္ပိန်</b> General	-₩#≁ Audio	Recording	(C) MIDI	Display	J.J.J Score	Hovie Movie	-0 <sup>-</sup> Automation	↓ Control Surfaces	() My Info	ැ Advancer
			Gen	eral   R	eset Mes	sages	Sync Inp	uts		
Deacti	vate MID	l input ports	for MIDI	hardwar	e that con	nmunicat	es with othe	r software applic	ations	
On	Port	t								
~	SSL	V-MIDI Por	t 1 Sourc	e						
	SSL	V-MIDI Por	t 2 Sourc	e						
	SSL	V-MIDI Por	t 3 Sourc	e						
	SSL	V-MIDI Por	t 4 Sourc	e						- 11
	SSL	V-MIDI Por	t 5 Sourc	e						- 11
	SSL	V-MIDI Por	t 6 Sourc	e						- 11
	SSL	V-MIDI Por	t 7 Sourc	e						- 11
	SSL	V-MIDI Por	t 8 Sourc	e						- 11
	SSL	V-MIDI Por	t 9 Sourc	e						- 11
	SSL	V-MIDI Por	t 10 Sour	ce						
	SSI	V-MIDI Por	t 11 Sour	ce						

STEP 6: 必要な SSL V-MIDI にチェックが入っている ことを確認します。Logic 10.5 より前のバージョンの Logic を使用している場合は、この手順を飛ばしてくだ さい。

🔴 💛 🚳 Con	trol Surfac	e Setup
Edit × New ×		
✓ Quick Help		
Device area This area offers a visual representation of every control surface du control surface group available. Select an icon to set up and confi device using the parameters on the left. Press %/ for more info.	evice and igure that	
V Device: Mackie Control		
Output Port: SSL V-MIDI Port 1 Destination		Mackie Control
Input Port: SSL V-MIDI Port 1 Source		
Model: Mackie Control		
Version: (unknown)		
Color:		
CS Group: Control Surface Group 1		
Flip Mode: Off	0	
Display Mode: Value	\$	
Clock Display: Beats	•	
Channel Strip View Mode: Arrange	0	
Fader Bank for Tracks View: 14		
Fader Bank for All View: 2		
Live Loop Column Bank: 0		
Channel Strip Parameter: Volume	\$	
Surround Parameter: Angle	÷ •	
Send Parameter: Level		

STEP 7: Mackie Control の画像をクリックし、左側のデバイスセットアップオプションリストで、Output PortをSSL V-MIDI Port 1 Destination に、Input PortをSSL V-MIDI Port 1 Source に設定し ます。

左側にデバイスセットアップオプションリストが表示されていない場合は、コンピュータのキーボードで「i」を押して表示させてください。

デバイスセットアップオプションリストの「Channel Strip View Mode」が「Arrange」に設定されていることを確認し、UF1 が Logic アレンジメントのトラックの順序に従うことを確認してください。

# Small LCD Layout (スモールLCDレイアウト)



Top Zone - 直上のソフトキーに割り当てられた機能のラベルを提供します。

Selected Track / Track Record-Enabled (REC) - Logic では、REC テキストは現在選択されているトラックに従います。

トラックが録音可能な場合、REC テキストは点滅します。 Fader Sel Indication - UF1 がフォーカスしている現在のコントローラバンク内のフェーダー番号を表示します。 UpLCD - 6 文字のトラック名が表示されます。

LowLCD - V-Pot に割り当てられているパラメーターのラベルまたは値を読み取れます。

DAW Track Metering - 12セグメントトラックメーター + クリップ

V-Pot Readout Bar - 現在割り当てられている V-Pot 機能のポジションを表示します。

### Before You Start... (始める前に...)

このLogic チュートリアルでは、Logic で UF1を使用する際の主な機能を説明しています。

UF1 を使用して Logic でコントロールできるすべての機能と特徴については、 Helpメニュー > Logic Pro Control Surface Supportのドキュメントを参照し てください。ドキュメントを開き、Mackie Controlのセクションに進みます。

Search
Quick Help Quick Help appears as
Logic Pro Tutorials Logic Pro Help Logic Pro Instruments Logic Pro Effects
Logic Pro Control Surfaces Support
What's New in Logic Pro Release Notes
Logic Pro Support Logic Pro on the Web Logic Pro Discussions Apple Training Centers
Create Support Profile

Logic Pro Control Surfaces Support の Mackie Control セクションには、完全な Mackie Control プロトコルガイドがあります。

# Large LCD Layout (ラージLCDレイアウト)



Soft Key Labels - 直上のソフトキーに割り当てられた機能のラベルです。. Timecode - 現在のタイムコードを Bars/Beats または SMPTE で表示します。 Channel Mode - 現在の CHANNEL エンコーダーのモードを表示します。 Solo Active Indication - アクティブなソロトラックがあるかどうかを表示します。 V-Pot Assignment Mode - 現在の V-Pot Assignment Mode を表示します。 Soft Key Page - 現在のソフトキーのページ番号が表示されます。 Top Scribble - 現在のコントローラーバンクのトラック 1-4 または 5-8 のトラック名が表示されます。 Low Scribble - 現在V-Potに割り当てられているパラメータのラベルまたは値の読み出しが表示されます。 V-Pot Readout Bar - 現在アサインされている V-Pot 機能のポジションを表示します。 V-Pots - 割り当てられたパラメータを制御する 4 つの V-Pot。

### Tutorial (チュートリアル)

ここでは、UF1とLogicの使い方を説明します。



### **V-Pot** (Vポット)

ストリップの上部には、V-Pot (バーチャル・ポット) があります。V-Pot の機能は、現在アクティブな V-Pot アサインモードによって異なりますが、パンポジション、センドレベル、プラグインパラメータ、 パラメータオプション/リストのスクロール などのタスクに使用されるのが一般的です。

V-Pot にはプッシュ機能があり、コントロールされているパラメータの位置をデフォルトにしたり、 選択されているパラメータの選択を確認したりするために使用されます。

### **100 mm Motorised Fader** (100mmモーター駆動フェーダー)

Logicのトラックを物理的にコントロールするモーターライズドフェーダーは、ミックスレベルのバランスを整えたり、ボリュームオートメーションを実行するのに適しています。

### Solo, Cut & Sel (Select) (ソロ、カット、セル (選択))

UF1のフェーダーストリップには、Logicトラックのソロ、ミュート、セレクト機能に対応する SOLO、 CUT、SEL キーがあります。

### In Use: (使用方法)

Logic Control Surfaceの環境設定「Flash Mute and Solo Buttons」 にチェックが入っている 場合、他のトラックがソロになったときに UF1の **CUT** キーが点滅します。

Logic MCP (Mackie Control Protocol) では、**SEL**キーを使って一度に選択できるトラックは1つだけです。

### Flip (フリップ)

FLIP キーを押すと、Logicの3つのフリップモード(「フリップ」、「スワップ」、「ゼロ」)のいずれかを 作動または解除します。最も分かりやすい「フリップ」機能は、センドレベルやプラグインパラメータ などのV-Potパラメータを、V-Potの代わりにフェーダーでコントロールできるようにするものです。 使用するフリップモードは、Mackie Control Surface Setup で設定します。

### Master (マスター)

UF1フェーダーでLogicのマスターフェーダーをコントロールできるようにするキーです。

### **Channel Encoder** (チャンネルエンコーダー)

CHANNEL エンコーダーを押し下げると、大型 LCD が変化し、利用可能な CHANNEL エンコーダーのモードが表示されます。エンコーダー を回して希望のモードをハイライトし、もう一度押してモードを選択します。



SOFT KEY 1	SOFT KEY 2	SOFT KEY 3	SOFT KEY 4
052	2. 02.		380
CHANNEL < >	FADER SEL F	ocus volu∾	IE
TopScrib 1	TopScrib 2	TopScrib 3	TopScrib 4
LowScrib 1	LowScrib 2	LowScrib 3	LowScrib 4

### CHANNEL < > (チャンネルバンクキー)

デフォルトでは、CHANNELエンコーダーは、UF1サーフェス上でDAWトラックを1チャンネルずつ移動するために使用されます。

### Fader Sel (フェーダー選択)

UF1 がフォーカスしている現在のコントローラーバンク内のトラックの番号を変更できます。UF1 のデフォルトはバンク内の最初のチャンネル (フェーダー「1」) で、これは UF1 スモールディスプレイの上隅に表示されます。



### Focus (フォーカス)

マウスのスクロール機能をエミュレートします。マウスのスクロール操作に反応するプラグインやその他のものを画面上でコントロールするのにとても良い方法です。プラグインのGUIを開き、マウスをコントロールの上に置いて、エンコーダーを回すだけで、実際に操作することができます。

Volume (ボリューム)

CHANNEL エンコーダーは、使用するオーディオデバイスがオペレーティングシステムのボリュームアップ/ダウンで制御できる場合、システムのボリュームレベルを制御します。例えば、ヘッドホンをコンピュータの内蔵オーディオ出力に接続した場合などです。

### **CENTRE KEYS** (チュートリアル)

# MODE (1)

MODEキーは、大型スクリーンと4つのV-Potの動作を決定します。MODEキーを押すと、さまざまなオプションが切り替わります。MODEボタンを押し続けると、大型LCDの上部にあるソフトキーから各モードに直接アクセスできます。 各モードは以下のように色分けされています:

### 一般的な DAW (白色)

大型ディスプレイの下にある4つのV-Potは、現在のV-Potのモードに応じて、 パン、センド、プラグインなどのさまざまなパラメータを制御します。

### DAW フェーダー (緑色) - "FAdr"

V-Potは、現在のコントローラーバンクの4つのトラックのフェーダー レベルをコントロールします。レベルは、dBテキスト表示とV-Pot表 示バーの両方で表されます。

### メータープラグイン (黄色)

V-Potとソフトキーは、SSL 360°経由でSSL Meter プラグインを直接 コントロールします。このモードはすべての DAW で共通なので、詳し くは UF1 ユーザーガイドの最後にある <u>SSL Meter control section</u> の項を参照してください。

# 5-8 ‡- (2)

V-Potを現在のコントローラーバンクのトラック5-8のコントロールに 割り当てます。

# ソフトキーページバンク <>(3)

ソフトキーに割り当てられたパラメーターの各ページを移動します。

# バンクキー <> ( 4 )

バンクキーは、8の倍数でフェーダーの選択を移動します。8のうち1番目のチャンネルがメインフェーダーの両方に表示され、5-8を選択しない限り、4つのV-Potにまたがって表示されるチャンネルのうち1番目となります。

# 360° / レイヤー 選択キー (5)

360°ボタンを短く押すと、SSL 360°アプリケーションを開閉し、UF1 や他の SSL 360°搭載機器の編集設定やアサイナブルキーにアクセ スすることができます。360°ボタンを長押しして、関連する最上段の ソフトキーを押すと、別の DAW やプラグインミキサーのレイヤーに 切り替えることができます。



360°ボタンを押したまま、最上段のソフトキーを押すことで、 別のレイヤーに切り替えることができます。



SOFT KEY 1	SOFT KEY 2	SOFT KEY 3	SOFT KEY 4
058	2. 02.	018	380
CHANNEL =		PAGE 01/02	SOFT KEYS 1/10
Kick	Snare	Hat	Bass
-2.1dB	-3.5dB	4.1dB	0.0dB

上図ではDAWフェーダーの"FAdr"モードが選択されている ことを示しています。大画面の下のV-PotはDAWフェーダー のレベルをコントロールします。

# $SCRUB \neq -(6)$

ジョグホイールを**スクラブ**モードにします。 ジョグホイールの回転速度でオーディオを再生しながら、DAW のタイムラインを スクロールします。

ジョグホイール(7)

ジョグホイールは、セッションタイムラインをスクロールするために使用します。ジョグホイールを時計回りに動かすとプレイヘッドがタイム ラインを前進し、反時計回りに動かすと後退します。





### カーソルキーとーモードキー

ジョグホイールの左側にはカーソルキーがあり、中央にはモードキーがあります。

モードキーが点灯しているときは、カーソルキーが水平方向と垂直方向のズームを行います。

モードキーをもう一度押すと、上下左右のカーソルキーでパラメータ機能、V-Pot アサインモードのページ (センド、プラグインなど)をナビゲートすることができます。

このユーザーガイドの後のページでは、LogicのMackie Control実装の「Channel View」と「Mixer View」と連動したカーソルキーの使用について詳しく説明します。

### Transport Controls (トランスポートコントロール)

UF1では、最下段に専用のトランスポートキー、その上部にセカンダリートランスポートキーを配置しています。セカンダリートランスポートキーには、ループのオン/オフやクリックのオン/オフなど、DAWでよく使われる機能があらかじめ割り当てられています。セカンダリートランスポートキーは、360°ソフトウェアアプリケーションで再割り当てが可能です。また、セカンダリートランスポートキーをDAWのオートメーション モードに再利用するためのシフトキーも用意されています。



### Transport Keys (トランスポートキー)

主要なトランスポートキーは、DAW内の主要なトランスポートコマンドに便利にアクセスすることができます。 左から右へ: 巻き戻し、早送り、停止、再生、録音。

### Secondary Transport Keys (セカンダリートランスポートキー)

セカンダリートランスポートコントロールは、DAW内で頻繁に使用される他の機能に素早くアクセスすることができます。これらのキーは、SSL 360°で再割り当てすることができます。デフォルトのマッピングは以下の通りです: 前マーカー、次マーカー、ループのオン/オフ、メトロノーム/クリックのオン/オフ、2つのクイックキー。

Logic では、クイックキー1はミキサーウィンドウの切り替えに、クイックキー2はV-Potのスクリブルストリップ情報をパラメータの名前または値の表示 (NAME/VALUE MCUコマンド)のどちらかに切り替えるようにプリセットされています。

### Shifted Functions of the Secondary Transport Keys - Automation Modes

(セカンダリートランスポートキーの機能変更 - オートメーションモード)

**セカンダリートランスポート**キーの下に、追加のラベルがあることにお気づきでしょうか。これらの機能は、SHIFT ボタンを押すことでアクセスでき、Logic Pro内のオートメーション・モードにアクセスすることができます。



### Automation $(\neg - \lor \neg \neg \neg \neg)$

UF1 フェーダーに表示されている DAW トラックのオートメーションモードを選択するには、まず SEL キーを押す必要があります。次に、 SHIFT キーを押して、セカンダリートランスポートキーをオートメーションキーに変更します。最後に、希望するオートメーションションモー ドに合致するセカンダリートランスポートキーを押します。



 OFF
 READ
 WRT
 TRIM
 I1
 I2

 Image: Comparison of the second seco

STEP 2: SHIFTキーを押して、セカンダリートランスポートキーをオートメーションキーに 変更します。



STEP 3: 希望するオートメーションションモードに合致するセカンダリートランスポート キーを押します。



### V-Pot Assignment Modes (V-Pot アサインメントモード)

UF1は、6つの主要な Mackie Control V-Pot アサインモードに直接アクセスすることができます。これらの V-Pot アサイン・モードは、以下 のキーでアクセスできます: 1 PAN、2 SEND、3 INSTRUMENT、4 PLUGIN、5 EQ、6 TRACK (トラック)です。 アサインメントモードにアクセスするには、ページキーを使用してソフトキーページ間を移動します。各 V-Pot のアサインメントモードの詳細 については、Mackie Control section *Logic Pro Control Surface Support* のドキュメントを参照してください。



### Channel View & Mixer View (チャンネルビューとミキサービュー)

各V-Potアサインモードは、「チャンネルビュー」または「ミキサービュー」の2種類の方法で操作することができます。現在アクティブなV-Potアサインキーを押すことで、2つのビューモードが切り替わります。

SEND モードを例にとって説明しましょう。最初に SEND キーを押すと、「ミキサー・ビュー」になります。このビュ ーでは、V-Potを使って全トラックの 1 つの Send パラメータ (Destination/Level/Pan/Mute)をコントロールする ことができます。"Mixer View" では、左右のカーソルキーで前後のパラメータを移動し、上下のカーソルキーでセ ンドスロットの選択を変更します (例: Send 1、Send 2、Send 3 など)。 Zoom キーがアクティブでないことを確認 します。

SEND キーをもう一度押すと「チャンネルビュー」に切り替わり、現在選択されているトラックの複数のセンドパラ メーター (デスティネーション、レベル、パン、ミュート)が V-Pot で表示されます。「チャンネルビュー」では、「チャ ンネルビュー」 左右のカーソルキーでパラメータページを移動し、上下のカーソルキーで選択したトラックを変更 します(中央の Zoom キーが点灯していない限り、この場合も同様です)。

### Pressing and holding a V-Pot Assignment Key (V-Pot アサインキーを長押しする)

V-Pot アサインキーの多くには、プレス・アンド・ホールド機能があります。例えば、SEND キーを長押しすると、 LCD にオプションのサブメニューが表示されます。この例では、V-Pot 2 の上に「Level」が表示されているので、 SEND を押したまま V-Pot 2 を押すと、V-Pot がセンドレベルのコントロールに割り当てられます。 ミキサービュー でカーソルキーを使用するのと同じ作業を、別の方法で実現することができます。



カーソルキーはチャ ンネルビューとミキ サービューでの操作 に不可欠です。

### Send / Plugin and Channel Key - How To Tell If You're In Channel View or Mixer View

(センド/プラグインとチャンネルキー - チャンネルビューかミキサービューかの見分け方)

大型ディスプレイの中央にある青い2桁の文字は、V-Potアサインメントモードと、「ミキサービュー」と「チャンネルビュー」のどちらであるかを知らせます。SENDなどのソフトキーを押すと、それぞれのビューが交互に切り替わります。

SEND	INSTRUM	ENT	PLUGIN	SMPTE/BEATS
058	2.07	2. [	] {	880
CHANNEL < >		51		SOFT KEYS 1/10
Kick	Snare	9	Bass	Synth
Bus 1	Bus 1		Bus 1	Bus 1

Mixer View (ミキサービュー) この例では、SEND は 'S1' で示されるように、「ミキサービュー」になって います。

Mixer View

Channel View (チャンネルビュー)

この例では、'SE'で示されるように、SEND は「チャンネルビュー」になっています。

SEND	INSTRUMENT	PLUGIN	SMPTE/BEATS
058	2.02.		880
CHANNEL < >	5	E.	SOFT KEYS 1/10
Kick	Snare	Bass	Synth
Bus 1	Bus 1	Bus 1	Bus 1

Channel View

### The Importance of the 5-8 Key (5-8 キーの重要性)

V-Potを操作する際には、5-8キーが重要な役割を果たすことを忘れないでください。

Mixer ビューでは、コントローラバンクの最初の4チャンネルが表示されます(バンクの最初の4トラックにわたるセンドなど)。 5-8キーを押すとトラック5-8のセンドを表示し、コントロールすることができます。

Channel ビューでは、5-8 キーを押すと、センド2、4、6、8 などの偶数番号のセンドスロットで、選択したトラックのパラメータ(デスティネーション、レベル、パン位置、パンミュート)にアクセスできます。5-8 キーと左右のカーソルキーを併用することで、利用可能なすべてのセンドにアクセスできます。

また、Name/Value機能(クイックキー2キーに割り当て済み)は、センド機能の名前または値を交互に表示させるのに便利です。

### Group, Marker and Nudge (グループ、マーカー、ナッジ)

ソフトキーバンク 2、3 は、Mackie Control の「Marker」「Nudge」「Group」機能にアクセスできます。

GROUP、MARKER、NUDGE、その他の Mackie Control コマンドの操作方法の詳細については、Logic Pro Control Surface Support ドキュメントの Mackie Control セクションを参照してください。

### **User Bank Pre-Assignments** (ユーザーバンクのプリ・アサインメント)

ソフトキーページ 1~10 では、UF1 の上部にある 4 つのソフトキーから、様々な DAW コマンドやキーボードショートカットにアクセスすることができます。 もちろん、これらは SSL 360°の UF1 ページで利用可能な DAW コマンドや独自のキーボードショートカットシーケンスに変更することができます。 ページ < > ソフトキー を使って、さまざまなページを移動します。

Soft Keys Page 1	Soft Keys	Page 2		
SEND INSTRUMENT PLUGIN SMPTE/BEATS	EQ	TRACK	MARKER	NUDGE
Soft Keys Page 3	Soft Keys	Page 4		
GROUP CLICK DROP REPLACE	SOLO	NUDGE	SCRUB	REC ARM
Soft Keys Page 5	Soft Keys	Page 6		
Ctrl Opt Alt Shift	SAVE	UNDO	CANCEL	ENTER
Soft Keys Page 7	Soft Keys	s Page 8		
MIDI TRACKS INPUTS AUDIO TRACK AUDIO INSTS	AUX	BUSES	OUTPUTS	USER
Soft Keys Page 9	Soft Keys	Page 10		
F1 F2 F3 F4	F5	F6	F7	F8

Inputs Audio Tracks Audio Instruments

Aux Busses Outputs User Shift Option Control Alt Read Write Touch Latch Trim Save Undo Group Cancel Enter Marker Nudge Cycle Drop Replace Click

#### Assignable DAW Commands List - Logic (アサイン可能な DAW コマンド一覧 - Logic) SSL 360°では以下の DAW コマンドをユーザー割り当て可能なキーに割り当てることが可能です。 Track Solo Pan/Surround Forward EQ Rewind Send Stop Plugin Play Instrument Record Flip Scrub Global Play Foot-switch Name/Value **Record Foot-switch** SMPTE/Beats Rec/Rdy F1 Previous Marker F2 Next Marker F3 F4 F5 F6 F7 F8 **MIDI Tracks**

# **Cubase/Nuendo with UF1 - Tutorial**

# (Cubase / Nuendo - チュートリアル)

以下のチュートリアルでは、UF1のLAYER 1 でデフォルトの Cubase プロファイルを設定し、使用する方法を説明します。別のレイヤーで Cubase を設定する場合は、UF1ユーザーガイドの「DAW Communication」のセクションを参照して、お使いのDAW が正しいSSL V-MIDI ポートに設定されていることを確認してください。

# SSL 360° Setup (SSL 360°セットアップ)

- 1. Mac または Windows コンピュータで SSL 360° のアプリケーションを開きます。HOME ページで、UF1 が SSL 360° で検出されたことを確認します。
- 2. 次に、UF1ページでLAYER 1をドロップダウン・リストでCubase に設定します。Cubase がドロップダウンリストに表示されない場合 は、<u>CONTROL SETUP</u>ページでDAW 1として設定されていないためです。



STEP 1 : SSL 360° アプリケーション を開き、UF1 が検出されたことを確認 します。



STEP 2: UF1 ページからデフォルト の Cubase DAW プロファイルを選択 します。

# Cubase Setup (Cubase の設定)

- 3. Cubaseを開きます。Studio > Studio Setup... と進みます。
- 4. ウィンドウ左上の + 記号をクリックし、ドロップダウンリストから Mackie Control を選択します。
- 5. MIDI Input を SSL V-MIDI Port 1 Source に、MIDI Output を SSL V-MIDI Port 1 Destination に設定します。 Apply をクリックします。

Transport	Studio	Workspaces	Window	VST Cloud	Hub	He
é (	Audio	Connections		F4		
° /• X Q	MixCo MixCo MixCo	onsole onsole 2 onsole 3		F3		
目 <u>2</u>   0:0	MixCo	onsole in Projec ol Room	t Window	<b>℃</b> F3		01:00
	VST P VST Ir Audio	lug-in Manager Instruments Performance		F11 F12		
	Video On-So	Player creen Keyboard		<sup>F8</sup> ℃К		
	More	Options		•		
	ReWir	e				
- ¢	Studio	o Setup				

STEP 4 : Cubase でStudio > Studio Setup...メニューを開きます。



STEP 5 : Mackie Control を追加し、 MIDI Input と MIDI Output を SSL V-MIDI Port 1 に設定し、Apply をク リックします。

 次に、Studio > More Options で Mackie Control と Mackie Control 2 をクリックし、表示 される小さなポップアップウィンドウが Compatibility ではなく、Cubase を選択していること を確認します。UF1 は Steinberg の最新の Mackie Control Protocol の実装で動作するよう に設計されており、すべての機能が期待通りに動作するためには Cubase モードである必要が あるため、これは重要です。



 7. 最後のステップとして、Studio Setup > MIDI Port Setup に進み、SSL V-MIDI Ports の In 'ALL MIDI Inputs' オプションを非ア クティブにして、OK をクリックします。これにより、すべての MIDI 入力 から受信するように設定された MIDI Instrument Tracks が、 UF1 からの MIDI データをピックアップしないようになります。



STEP 7: SSL V-MIDI Ports の In 'ALL MIDI Inputs' オプションを非アクティブにする

### Small LCD Layout (スモール LCD レイアウト)





Soft Key - 直上のソフトキーに割り当てられた機能のラベルが表示されます。 Timecode - 現在のタイムコードを Bars/Beats または SMPTE で表示します。 Channel Mode - 現在の CHANNEL エンコーダーモードを表示します。 Solo Active Indication - アクティブなソロトラックがあるかどうかを示します。 Cubase MCU Page Number - 現在の V-Pot アサインメントモードの Cubase のページ情報。 Soft Key Page - 現在のソフトキーのページ番号が表示されます。 UpLCD - トラック名または現在の V-Pot アサインに関する情報を表示します。 LowLCD - V-Pot の名前または値に関する情報を表示します (どのモードまたはページが選択されているかによって異なります)。 DAW Track Metering - 12 セグメントトラックメーター + クリップ V-Pot Readout Bar - 現在割り当てられた V-Pot (エンコーダー) 機能のポジションを表示します。 V-Pots - 割り当てられたパラメータを制御する 4 つの V-Pot。

### Tutorial (チュートリアル)

UF1とCubaseの使い方を説明します。



### Before You Start... (始める前に...)

UF1 を使って Cubase でコントロールできるすべての機能と特徴を詳しく説明するためには、Cubase/ Nuendo のヘルプメニューから入手できる Steinberg のリモートコントロールデバイス PDF ドキュメント の Mackie MCU Proのセクションを参照してください。

### **V-Pot** (Vポット)

各ストリップの上部には、V-Pot(バーチャル・ポット)があります。V-Potの機能は、現在アクティブな V-Potア サインモード(パン、FXセンドなど)によって異なりますが、パンポジション、センドレベル、プラグインパラメ ータ、パラメータオプション/リストのスクロールなどのタスクに使用します。

V-Pot にはプッシュ機能があり、V-Pot アサインモードが Pan の場合、デフォルトでトラックモニター機能を 操作します。

### **100 mm Motorised Fader** (100 mm モーター駆動フェーダー)

Cubaseのトラックを物理的にコントロールするモーターフェーダーは、ミックスレベルのバランス調整やボ リュームオートメーションの操作に最適です。

### Solo, Cut & Sel (Select) (SOLO、CUT、SEL (選択))

UF1 のフェーダーストリップには、Cubase トラックのソロ、ミュート、セレクトに対応する SOLO、CUT、 SEL キーがあります。

### **Flip** (フリップ)

FLIP キーを押すと、V-Potとフェーダーの機能が切り替わります。センドレベルやプラグインパラメーターを V-Potではなくフェーダーでコントロールする場合など、さまざまな場面で活躍します。

### Master (マスター)

UF1フェーダーをCubaseのマスターフェーダーとしてコントロールするためのキーです。

**Channel Encoder** (チャンネルエンコーダー)

CHANNEL エンコーダーを押すと、大型 LCD が変化し、利用可能な CHANNEL エンコーダーのモードが表示されます。エンコーダーを回して希望のモードをハイライトし、もう一度押してモードを選択します。



S	OFT KEY 1	SOFT KEY 2	SOFT KEY	3 SOF	FT KEY 4
	052	2. 02.		88	30
	CHANNEL < >	FADER SEL F	ocus vo	LUME	
Т	opScrib 1	TopScrib 2	TopScrib	3 Top	Scrib 4
	LowScrib 1	LowScrib 2	LowScrib 3	Lo	wScrib 4

<> (バンクキー)

デフォルトでは、CHANNELエンコーダーは、UF1サーフェス上でDAWトラックを1チャンネルずつ移動するために使用されます。

Fader Sel (フェーダー選択)

UF1がフォーカスしている現在のコントローラーバンク内のトラックの番号を変更できます。UF1のデフォルトはバンク内の最初のチャンネル(フェーダー「1」)で、UF1スモールディスプレイの上隅に表示されます。UF1が制御している8つのフェーダーのバンクがセッションの終わりにぶつかっている場合、ミキサーの終わりにあるトラックにアクセスするには、これを変更する必要があります。



Focus (フォーカス)

マウスのスクロール機能をエミュレートします。マウスのスクロール操作に反応するプラグインやその他の ものを画面上でコントロールするのにとても良い方法です。プラグインのGUIを開き、コントロールの上 にマウスを置き、エンコーダーを回すだけで、実際に操作することができます。

**Volume** (ボリューム)

CHANNEL エンコーダーは、使用するオーディオデバイスがオペレーティングシステムのボリュームアップ/ダウンで制御できる場合、システムのボリュームレベルを制御します。例えば、外出先でヘッドホンをコンピュータの内蔵オーディオ出力に接続した場合などです。

### CENTRE KEYS (センターキー)

# MODE ((1))

MODEキーは、大型スクリーンと4つのV-Potの動作を決定します。 MODEキ ーを押すと、さまざまなオプションが切り替わります。MODEボタンを押し続け ると大型 LCD の上部にあるソフトキーから各モードに直接アクセスできます。 各モードは以下の様に色分けされています:

### 一般的な DAW (白色)

大型ディスプレイの下にある4つの V-Pot は、現在の V-Po t割り当てモードに 応じて、パン、センド、プラグインなどのさまざまなパラメータを制御します。

### DAW フェーダー (緑色) - "FAdr"

V-Potは、現在のコントローラーバンクの4つのトラックのフ ェーダーレベルをコントロールします。レベルは、dBテキス ト表示とV-Pot 表示バーの両方で表されます。

### メータープラグイン (黄色)

V-Potとソフトキーは、SSL 360°を介して、SSL Meter プラグ インを直接コントロールします。このモードはすべての DAW で共通なので、詳しくは UF1 ユーザーガイドの最後にある SSL Meter control section の項を参照してください。

# 5-8 + - ( ( 2 ))

V-Potを現在のコントローラーバンクのトラック5~8のコント ロールに割り当てます。

# ソフトキーページ((3))

ソフトキーに割り当てられているパラメーターの各ページを移動します。

# バンクキー ((4))

バンクキーは、8の倍数でフェーダーの選択を移動します。8のうちの1番目のチャンネルがメインフェーダーの両方に現れ、5-8が選択され ていない限り、4つの V-Pot にまたがって現れるチャンネルのうちの1番目となります。

# 360°/LAYER 選択キー((5))

360°ボタンを短く押すとSSL 360°アプリケーションを開閉し、UF1 や他の SSL 360° 関連デバイスの編集設定やアサイン可能なキー にアクセスすることができます。360°ボタンを長押しして関連する 最上段のソフトキーを押すと、別の DAW やプラグインミキサーの レイヤーに切り替えることができます。



360°ボタンを押したまま、最上段のソフトキーを押すことで、 別のレイヤーに切り替えることができます。

1

MODE

2

5-8

BANK

3

**SCRUB** 

6

360°

LAYER

(5)

SOFT KEY	1 SOFT	KEY 2	SOFT	KEY 3 S	SOFT KEY 4
05	2. [	32.		1.8	180
CHANNEL < >	SOLO ACTIVE	FA	dr	PAGE 01/02	SOFT KEYS 1/10
Kick	Sn	are	Ha	at	Bass
-2.1dB	-3.	5dB	4.10	dB	0.0dB

上図はDAW フェーダーの "FAdr" モードが選択されているこ とを示しています。大画面の下の V-Pot は DAW フェーダーの レベルをコントロールします。

# SCRUB **‡**-(**6**)

**SCRUB** キーは、ジョグホイールをスクラブモードにします。ジョグホイールの回転速度でオーディオを再生しながら、DAW のタイムライン をスクロールします。

# ジョグホイール (7)

ジョグホイールは、セッションタイムラインをスクロールするために使用 します。ジョグホイールを時計回りに動かすとプレイヘッドがタイムライ ンを前進し、反時計回りに動かすと後退します。







ジョグホイールの左側にはカーソルキーがあり、中央にはモードキーがあります。

モードキーが点灯しているときは、カーソルキーで水平・垂直方向のズームができます。

中央のモードキーをもう一度押すと、上下左右のカーソルキーでエディットウィンドウのチャンネルを移動し、左右キーで現在選択されている トラックのリージョンの始点と終点に移動することができます。

### Transport Controls (トランスポートコントロール)

UF1 では最下段に専用のトランスポートキー、その上部にセカンダリートランスポートキーを配置しています。セカンダリートランスポートキーには、ループのオン/オフ やクリックのオン/オフなど、DAW でよく使われる機能があらかじめ割り当てられています。セカンダリートランスポートキーは、360° ソフトウェアアプリケーションで再割り当てが可能です。また、セカンダリートランスポートキーを DAW のオートメーションモードに利用するためのシフトキーも用意されています。



### Transport Keys (トランスポートキー)

主要なトランスポートキーは、DAW内の主要なトランスポートコマンドに便利にアクセスすることができます。 左から右へ:巻き戻し、早送り、停止、再生、録音。

### Secondary Transport Keys (セカンダリートランスポートキー)

セカンダリートランスポートコントロールは、DAW内で頻繁に使用される機能に素早くアクセスすることができます。これらのキーは、SSL 360°で再割り当てすることができます。デフォルトのマッピングは以下の通りです:ページ左、ページ右、ループのオン/オフ、メトロノーム/ クリックのオン/オフ、2つのクイックキーです。

Cubaseでは、クイックキー1がName/Valueコマンドの切替、クイックキー2がMCUシフト機能にプリセットされています。

### Shifted Functions of the Secondary Transport Keys - Automation Modes

(セカンダリートランスポートキーのシフト機能 - オートメーションモード)

**セカンダリートランスポート**キーの下に、追加のラベルがあります。これらの機能はSHIFTボタンを押すことでアクセスでき、Cubase内のオートメーションモードにアクセスすることができます。CubaseにおいてはREADとWRITEが唯一のオートメーションキーなので、このセクションの他のキーはすべて無効になっていることに注意してください。



Modes unavailable in Cubase MCU

### Automation $(\neg - \lor \checkmark \neg \lor \exists \lor)$

UF1 フェーダーに表示されている DAW トラックのオートメーションモードを選択するには、まず SEL キーを押す必要があります。次に、 SHIFT キーを押して、セカンダリートランスポートキーをオートメーションキーに変更します。最後に、希望するオートメー ションモード に 合致するセカンダリートランスポートキーを押します。



トラックを選択します。

 OFF
 READ
 WRT
 II
 I
 I

 OFF
 READ
 WRT
 ITRIM
 ITCH
 ICH

STEP 2: SHIFT キーを押して、セカンダリートランスポートキーをオートメーションキーに変更 します。





STEP 3: 希望するオートメーションモードに合致するセカンダリートランスポートキーを 押します。

**Channel Visibility Presets** (チャンネル表示プリセット)

フェーダーバンク1-8コマンドは、チャンネル表示プリセットを呼び出すために使用します。これらのコマンドは、ソフトキーページ9と10にあらかじめ割り当てられています。

MCU Shift キーを押しながら (クイックキー 2 に割り当て済み)、フェー ダーバンクキーは、特定のチャンネルタイプ (オーディオ、グループ、FX チャンネル、MIDI など)を UF1 サーフェスに適用します。

詳しくは、Cubase Remote Control Devices のドキュメントを参照してください。

FADR BNK 1	FADR BANK 2	FADR BNK 3	FADR BNK 4
FADR BNK 5	FADR BANK 6	FADR BNK 7	FADR BNK 8

### V-Pot Assignment Modes (V-Pot アサインモード)

UF1 は、CubaseのMackie Control 実装の主要モードに直接アクセスすることができます。各V-Pot アサインモードの詳細な使用方法については、Steinbergの Remote Control Devicesのドキュメントの Mackie MCU Pro のセクションを参照してください。



The Pan Key is located on the Soft Key abvove the Small LCD Screen







EQ & Track are available on Soft Key Page 2.

### Nomenclature Table (命名規則表)

以下の「Cubase/Nuendo MCU Function」列には、Steinbergの Remote Control Devices ドキュメントで言及されている MCU 機能名 が含まれています。これらの名前は、Mackie コントローラーに配置される Cubase/Nuendo オーバーレイ (デフォルトのLogicラベルを置き 換える)から引用されています。Cubaseの MCU の実装は年々進化しており、ラベルの一部が機能と完全に一致しないことがあります。例えば、 Cubase のオーバーレイがある Mackie Control の「FIRST」キーは、ルーティングのコントロールにアクセスするので、代わりに ROUTING というラベルを付けています。

Mode	Cubase/Nuendo MCU Function	UF1 Label
1	PAN	PAN
2	LAST	FX SEND
3	EQ	EQ
4	DYN/FX/AUX	STRIP
5	PLUGINS	PLUGIN
6	INSTRUMENT	VST INSTRUMENTS
7	SENDS	FX INSERT
8	MASTER	MASTER INSERT

### **Page Keys < >** (Page ≠− < >)

**PAGE <>**キーで、各V-Potアサインモード(Cubase でいう「パラメーターグループ」)内のパラメーターページを 移動できます。現在のページ選択は、UF1 大型ディスプレイに表示されます。



### Name/Value (ネーム/バリュー)

NAME/VALUE (クイックキー1に割り当て済み)機能は、厳密に言えばそれ自体は V-Pot割り当てモードではありませんが、LCD にパラメータ値を表示する便利な機能を備えています。これを設定しないと V-Potを回したときにしかパラメータ値が表示されません。

### **Example - Controlling Sends** (操作例 - センドをコントロールする)

このユーザーガイドでは、Cubase MCU の実装における様々な V-Pot アサインモードをすべて網羅することはできませんが、Send を制御 する例を以下に示します。



3. PAGE < >キーを使って、パラメータページ間を移動します。

- UF1フェーダーにアサインされたトラックのSELキーを押して、コントロールしたいチャンネルを選択します。
- FX SEND キーを押します。このモードでは、V-Pot を使って、現在選択されているトラックから送られる全センドパラメーターをコント ロールすることができます。
- PAGE <> キーを使って、パラメータページ間を移動します。

### Send Settings - Global (センドの設定 - Global モード)

また、Global モードでは、UF1 サーフェス上のトラックの詳細なセンド設定にアクセスすることができます。例えば、FX センド1のセンドパラ メーター (レベルなど)を、V-Potを使って複数のトラックで一括してコントロールすることができます。



MCU Shift コマンド (クイックキー2) を長押ししてアクセスする V-Pot アサインメントモードの例です。

- 1. MCU Shift (クイックキー 2) キーを長押しして、FX SEND キーを押します。これで FX センド 1 が選択されますが、MCU Shift (クイ ックキー 2) を押しながら FX SEND キーを繰り返し押すことで、残りの FX センド (FX2~) を移動することができます。
- 2. **PAGE < >** キーを使用して、パラメータページ間を移動します。

各 V-Pot アサインモードは、ソフトウェアのバージョン等により操作方法が若干異なる場合がありますので、Steinberg 社の Mackie MCU Pro のセクションを参照してください。

### **User Bank Pre-Assignments** (ユーザーバンクのプリ・アサインメント)

ユーザーバンク1~10は、UF1の上部にある4つのソフトキーで、様々なDAWコマンドやキーボードショートカットにアクセスすることができます。SSL 360°のUF1ページで、利用可能なDAWコマンドや独自のキーボード・ショートカット・シーケンスに変更することができます。

<> キーでユーザーバンクを選択すると、現在のバンクが大画面ディスプレイの SOFT KEYS 1/10 ディスプレイに表示されます。

Soft Key Page 1 (ユーザーバンク1)	<b>Soft Key Page 2</b> (ユーザーバンク2)
FX SEND EQ STRIP SMPTE/BEATS	PLUGIN VST INSTR FX INSERT MASTER INS
Soft Key Page 3 (ユーザーバンク3)	<b>Soft Key Page 4</b> (ユーザーバンク4)
ROUTING LEFT RIGHT SOLO DEFEAT	PREVIOUS NEXT ADD PUNCH
<b>Soft Key Page 5</b> (ユーザーバンク5)	<b>Soft Key Page 6</b> (ユーザーバンク6)
PROJECT MIXER MOTORS Shift	REC ARM REVERT UNDO REDO
Son Key Page 7 $(1-9-7/297)$	Soft Key Page 8 $(1-9-1/298)$
F1 F2 F3 F4	F5 F6 F7 F8
<b>Soft Key Page 9</b> (ユーザーバンク9)	<b>Soft Key Page 10</b> (ユーザーバンク10)
FADR BNK 1 FADR BNK 2 FADR BNK 3 FADR BNK 4	FADR BNK 5 FADR BNK 6 FADR BNK 7 FADR BNK 8

### Function Select Keys 1-8 (F1 - F8) (ファンクション選択キー 1~8 (F1~F8))

Cubase の Studio Setup... メニューで Mackie Control ポートを設定する際、ソフトキーページ7と8にある F1 - F8 キーを、User Commands テーブルで利用できる豊富な Cubase コマンドのリストにプログラムすることができます (カテゴリを選択し、そのカテゴリか らコマンドを選択してください)。各Fキーはの MCU の Shift キーを使ってシフトすることができ、合計 16 個のユーザーコマンドとフット ベダル「ユーザーA」「ユーザーB」を使用することができます。

Assignable DAW Commands List - Cubase/Nuendo (アサイン可能な DAW Commands リスト - Cubase/Nuendo)

SSL 360°では、以下のDAWコマンドを、ユーザー割り当て可能なキーのいずれかに割り当てることができます。括弧内のラベルは、その機能が何をするものかを明確にするために付加されています。

First (Routing)	Add
Pan	Next
EQ	Forward
Last (FX Sends)	Rewind
Plugins (IFX Inserts)	Stop
Dyn/FX/Aux (Strip)	Play
Flip	Record
Edit (Window)	Scrub
Name/Value	User A
SMPTE/Beats	User B
F1	Rec/Rdy
F2	Channel < (Page Left)
F3	Channel > (Page Right)
F4	
F5	
F6	
F7	
F8	
Fader Bank 1	
Fader Bank 2	
Fader Bank 3	
Fader Bank 4	
Fader Bank 5	
Fader Bank 6	
Fader Bank 7	
Fader Bank 8	
Undo	
Redo	
Save	
Revert	
Read	
Write	
Project	
Mixer	
Sends (FX IFX 1st Insert)	
Instruments (VSTs)	
Master (Insert)	
Motors	
Solo Defeat	
Shift	
Left	
Right	
Cycle	
Punch	
Previous	

# Ableton Live with UF1 - Tutorial (Ableton Live - チュートリアル)

以下のチュートリアルでは、UF1のLAYER 1でデフォルトの Ableton Live プロファイルを設定し、使用する方法を説明します。別のレイヤーで Ableton Live を設定する場合は、UF1 ユーザーガイドの「DAW Communication」のセクションを参照して、お使いの DAW が正しい SSL V-MIDI ポートに設定されていることを確認してください。

# SSL 360° Setup (SSL 360°セットアップ)

- 1. Mac または Windows コンピュータで SSL 360° のアプリケーションを開きます。**HOME** ページで、UF1 が SSL 360° で検出されたことを 確認します。
- 2. 次に、**UF1**ページで Layer 1 をドロップダウン・リストで Ableton Live に設定します。 Ableton Live がドロップダウンリストに表示され ない場合は、<u>CONTROL SETUP</u>ページで DAW 1 として設定されていないためです。



STEP 1 : SSL 360° のアプリケーション を開き、UF1 が SSL 360° で検出され たことを確認します。



STEP 2 : UF1ページでLayer 1をドロ ップダウン・リストで Ableton Live に設 定します。

### Live Setup (Live セットアップ)

- 3. Live を開き、Preferences > Link MIDI... を開きます。
- 4. コントロールサーフェスのドロップダウンリストから、MackieControl を選択します。Input を SSL V-MIDI Port 1 Source に、Output を SSL V-MIDI Port 1 Destination に設定します。

	Fieleiences	
ook eel	ink	
udio	how Link Toggle Show Off	
nk		
	Control Surface Input Output	it
dor	None Vone Vone	(Dump
101	None   None None	Oump
ary	None Vione Vione	Dump
	None V None V None	V Dump
ig-ins	None V None V None	V (Dump
cord irp inch	Takeover Mode None	
enses	MIDI Ports Track 5	Sync Remote
intenance	Input: SSL V-MIDI Port 1 Source On	110 110
	Input: SSL V-MIDI Port 2 Source On	110 Tho
	Input: SSL V-MIDI Port 3 Source On	110 110
	Input: SSL V-MIDI Port 4 Source On	off Off
	Input: SSL V-MIDI Port 5 Source On	Off Off
	Input: SSL V-MIDI Port 5 Source On Input: SSL V-MIDI Port 6 Source On	Off Off Off Off
	Input: SSL V-MIDI Port 5 Source Input: SSL V-MIDI Port 6 Source Input: SSL V-MIDI Port 7 Source On	Off Off Off Off Off Off
	Input: SSL V-MIDI Port 5 Source On Input: SSL V-MIDI Port 6 Source On Input: SSL V-MIDI Port 7 Source On Input: SSL V-MIDI Port 7 Source On	110         110           110         110           110         110           110         110           110         110
	Input: SSL V-MIDI Port 5 Source     On     Input: SSL V-MIDI Port 6 Source     On     Input: SSL V-MIDI Port 7 Source     On     Input: SSL V-MIDI Port 8 Source     On	off Off Off Off Off Off Off Off Off Off
	Input: SSL V-MIDI Port S Source     On     Input: SSL V-MIDI Port E Source     On     Input: SSL V-MIDI Port E Source     On     Input: SSL V-MIDI Port B Source     On     Input: SSL V-MIDI Port B Source     On	110     110       110     110       110     110       110     110       110     110       110     110
	Input: SSL V-MDI Port & Source     Input: SSL V-MDI Port & Source     On     Input: SSL V-MDI Port & Source     Input: SSL V-MDI Port & Source     On     Input: SSL V-MDI Port & Source     On     Input: SSL V-MDI Port & Source     On	0ff     0ff
	Input: SSL V-MIDI Port Source     Input: SSL V-MIDI Port I Source     I	off Off Off Off Off Off Off Off Off Off Off Off Off Off
	Input: \$\$1,V-MID Port & Source     Input: \$\$1,	Off Off Off Off Off Off Off Off Off Off Off Off Off Off Off Off
	Input: SSL-VARID Peet Source         On	Off         Off
	Papel: SSL VAIDI Pert Source	Off         Off           Off         Off
		Off         Off

STEP 3 : Preferences > Link MIDI... を開きます。

	Preferences	
Look Feel	Link	
Audio	Show Link Toggle Start Stop Sync	Off
.ink MIDI	MIDI	Output
ile	1 Machie Central	
older	2 None	None
	3 None V None	V None V (Dump)
brary	4 None   None	▼ None ▼ (Dump)
lug-Ins	5 None Vone	▼ None ▼ (Dump)
	6 None   None	None  Dump
Record Narp Launch	Takeover Mode None	•
licenses	MIDI Ports	Track Sync Remote
Maintenance	▶ Input: SSL V-MIDI Port 1 Source	On Off Off
	► Input: SSL V-MIDI Port 2 Source	On Off Off
	▶ Input: SSL V-MIDI Port 3 Source	On Off Off
	▶ Input: SSL V-MIDI Port 4 Source	On Off Off
	h Input: SSI V-MIDI Port & Source	
	h Input: SSI V-MIDI Port 6 Source	
	b lagute SELV MIDI Port 7 Source	
	P Input. 33L V-MIDI Port 7 Source	
	Input: SSL v-MIDI Port 8 Source	On Off Off
	Input: SSL V-MIDI Port 9 Source	On Off Off
	▶ Input: SSL V-MIDI Port 10 Source	On Off Off
	h Innuts COLULATION Dant 11 Courses	On Off Off
	P input: SSE V-MIDI POPETT Source	
	<ul> <li>Input: SSL V-MIDI Port 12 Source</li> <li>Input: SSL V-MIDI Port 12 Source</li> </ul>	On Off Off
	Input: SSL V-MIDI Port 12 Source     Output: SSL V-MIDI Port 1 Destination	On Off Off Off Off Off
	Input: SSL V-MIDI Port 11 Source     Input: SSL V-MIDI Port 12 Source     Output: SSL V-MIDI Port 1 Destination     Output: SSL V-MIDI Port 2 Destination	On Off Off Off Off Off Off Off Off
	Input: SSLV-MID Port 11 Source     Input: SSLV-MIDI Port 12 Source     Output: SSLV-MIDI Port 1 Destination     Output: SSLV-MIDI Port 3 Destination	On Off Off Off Off Off Off Off Off Off Off

STEP 4 : MackieControl を選択し、 Input とOutput をSSL V-MIDI Port 1 に設定します。

### Small LCD Layout (スモール LCD レイアウト)



Top Zone - 直上のソフトキーボタンに割り当てられた機能のラベルを表示します。

Track Record-Enabled (REC) - Liveではトラックが録音可能状態な場合、REC テキストが表示されます。

Fader Sel Indication - UF1 がフォーカスしている現在のコントローラーバンク内のフェーダー番号を表示します。

UpLCD - 通常、現在のモードに応じて、トラック名または V-Pot で制御されているパラメータを表示します。

LowLCD - フェーダーを移動した場合を除き、現在V-Potに割り当てられているパラメーターのラベルまたは数値が表示されます。

(この場合、フェーダーの dB 値が表示されます)

DAW Track Metering - 12 セグメントトラックメーター + クリップ

V-Pot readout bar - 現在割り当てられている V-Pot (エンコーダー)機能の位置を表示します。
## Large LCD Layout (ラージ LCD レイアウト)



Soft Key Labels - 直上のソフトキーに割り当てられた機能のラベルが表示されます。

Timecode - 現在のタイムコードを Bars/Beats または SMPTE で表示します。

Channel Mode - 現在の CHANNEL エンコーダーモードを表示します。

**Solo Active Indication** - アクティブなソロトラックがあるかどうかを示します。

V-Pot Assignment Mode/Live Track No. - 現在の V-Pot アサインメントモードかトラックのナンバー。

Soft Key Page - 現在のソフトキーのページ番号が表示されます。

Top Scribble - 現在のコントローラバンクのトラック 1-4 または 5-8 のトラック名を表示します。

Low Scribble - 現在 V-Pot に割り当てられているパラメータのラベルまたは値を表示します

(フェーダーを移動した場合はフェーダーの dB 値が表示されます)。

V-Pot Readout Bar - 現在割り当てられた V-Pot (エンコーダー)機能のポジションを表示します。 V-Pots - 割り当てられたパラメータを制御する4つの V-Pot。

#### Tutorial (チュートリアル)

UF1とLiveの使い方を説明します。



#### **V-Pot** (ブイポット)

ストリップの上部には、V-Pot (バーチャルポット) があります。 V-Pot の機能は、現在アクティブな V-Pot アサインモードによって異なりますが、通常、パンポジション、センドレベル、プラグインパラメ ーター、パラメーターオプション/リストのスクロールなどのタスクに使用されます。

V-Pot にはプッシュ機能があり、通常、コントロールするパラメータの位置をデフォルトにするために 使用します。

#### **100 mm Motorised Fader** (100 mm E-9-71-9-)

Liveのトラックを物理的にコントロールするモーターフェーダーは、ミックスレベルのバランス調整や ボリュームオートメーションの操作に最適です。

フェーダーを1つタッチすると、Low LCD エリアには V-Pot パラメータ表示ではな く、フェーダーの dB 表示が行われます。

#### Solo, Cut & Sel (セレクト)

UF1 のフェーダーストリップには、トラックのトラックのソロ、ミュート、セレクトに対応する **SOLO**、 **CUT、SEL**キーがあります。

#### **Flip** (フリップ)

FLIPキーを押すと、V-Potとフェーダーの機能が切り替わります。センドレベルなどをV-Potではなくフェーダーでコントロールする場合など、さまざまな場面で活躍します。

#### Master (マスター)

UF1フェーダーをマスターフェーダーとしてコントロールするためのキーです。

**Channel Encoder** (チャンネルエンコーダー)

CHANNEL エンコーダーを押すと、大型LCDが変化し、利用可能な CHANNEL エンコーダーのモードが表示されます。 エンコーダーを回して希望のモードをハイライトし、もう一度押してモードを選択します。



SOFT KEY 1	SOFT KEY 2	SOFT KEY 3	SOFT KEY 4
052	2. 02.	01	380
CHANNEL < >	FADER SEL FO	DCUS VOLUM	1E
TopScrib 1	TopScrib 2	TopScrib 3	TopScrib 4
LowScrib 1	LowScrib 2	LowScrib 3	LowScrib 4

**<>** (<> ==)

デフォルトでは、CHANNEL エンコーダーは、UF1 サーフェス上で DAW トラックを1 チャンネルずつ移動するために使用されます。

Fader Sel (フェーダー選択)

UF1がフォーカスしている現在のコントローラーバンク内のトラックの番号を変更できます。UF1のデフォルトは バンク内の最初のチャンネル (フェーダー「1」) で、UF1スモールディスプレイの上隅に表示されます。 UF1が制御している 8 つのフェーダーのバンクがセッションの終わりにぶつかっている場合、ミキサーの終わりに あるトラックにアクセスするには、これを変更する必要があります。



#### Focus (フォーカス)

マウスのスクロール機能をエミュレートします。マウスのスクロール操作に反応するプラグインやその他のものを 画面上でコントロールするのにとても良い方法です。プラグインの GUI を開き、コントロールの上にマウスを置 き、エンコーダーを回すだけで、実際に操作することができます。

**Volume** (ボリューム)

CHANNEL エンコーダーは、使用するオーディオデバイスがオペレーティングシステムのボリュームアップ/ダウンで制御できる場合、システムのボリュームレベルを制御します。例えば、外出先でヘッドホンをコンピュータの内蔵オーディオ出力に接続した場合などです。

#### CENTRE KEYS (センターキー)

## MODE (1)

MODE キーは、大型スクリーンと4つの V-Pot の動作を決定します。
 MODE キーを押すと、さまざまなオプションが切り替わります。
 MODE ボタンを押し続けると大型 LCD の上部にあるソフトキーから各モード
 に直接アクセスできます。各モードは色分けされています:

#### 一般的な DAW (白色)

大型ディスプレイの下にある4つのV-Potは、現在のV-Pot割り当てモードに応じて、パン、センド、プラグインなどのさまざまなパラメータを制御します。

#### DAW フェーダー (緑色) - "FAdr"

V-Potは、現在のコントローラーバンクの4つのトラックのフェー ダーレベルをコントロールします。レベルは、dBテキスト表示と V-Pot表示バーの両方で表されます。

#### メータープラグイン (黄色)

V-Pot とソフトキーは、SSL 360°を介して、SSL Meter プラグインを直接コントロールします。このモードはすべての DAW で共通なので、詳しくは UF1 ユーザーガイドの最後にある SSL Meter control section の項を参照してください。

## 5-8 +- (2)

V-Pot を現在のコントローラーバンクのトラック 5~8 のコントロ ールに割り当てます。

## ソフトキーページ(3)

ソフトキーに割り当てられているパラメーターの各ページを移動します。

## バンクキー (4)

バンクキーは、8の倍数でフェーダーの選択を移動します。8のうちの1番目のチャンネルが Main Fader の両方に現れ、5-8 が選択されて いない限り、4つの V-Pot にまたがって現れるチャンネルのうちの1番目となります。

## 360° / LAYER 選択キー ( 5 )

360° ボタンを短く押すと SSL 360° アプリケーションを開閉し、 UF1 や他の SSL 360° 関連デバイスの編集設定やアサイン可能な キーにアクセスすることができます。360° ボタンを長押しして関連 する最上段のソフトキーを押すと、別の DAW やプラグインミキサ ーのレイヤーに切り替えることができます。



Press and hold the 360° button and whilst keeping it held down, you can switch to a different Layer by pressing the relevant top-row soft key.

 KICK
 Share
 Hat
 Bass

 -2.1dB
 -3.5dB
 4.1dB
 0.0dB

 Above shows the DAW Faders
 "FAdr" mode has been selected. The V-Pots beneath the large screen control DAW fader levels.



SOFT KEY 1	SOFT KEY 2	SOFT KEY 3	SOFT KEY 4
058	2. 02.		880
CHANNEL S <> A		dr	SOFT KEYS 1/10
Kick	Snare	Hat	Bass
-2.1dB	-3.5dB	4.1dB	0.0dB

## SCRUB $\neq -(6)$

SCRUB キーは、Live においては無効です。.

## ジョグホイール (7)

ジョグホイールは、アレンジメントビューのときに、セッションのタイムラインを スクロールするために使用します。ジョグホイールを時計回りに動かすと再生 ヘッドがタイムラインを前進し、反時計回りに動かすと後退します。セッション ビューでは、ジョグホイールはハイライトされたシーンを移動させます。



## カーソルキーとモードキー (クリップの起動とズームアップ)



ジョグホイールの左側には、カーソルキーがあり、中央にはモードキーがあります。 これらのキーの機能は、Live の現在のビューに依存します。

#### Session View (セッションビュー)

セッションビューで作業する場合、カーソルキーで上下左右に移動して起動したいクリップをハイライト し、真ん中のモードキーでクリップの起動が可能です。

#### **Arrangement View** (アレンジメントビュー)

モードキー点灯中は、左右のカーソルキーで水平方向の拡大・縮小を行い、上下のカーソルキーで現在選択されているトラックのトラック高 を増減します。もう一度 Mode キーを押すと、上下カーソルキーで選択中のトラックを変更し、左右カーソルキーでカーソルを左右に移動さ せます。

#### Launch Scenes (ローンチシーン)

LNCH SCENE (ソフトキーページ1) と書かれたソフトキーは、 Live で Launch Scene 機能を実行するようにプログラムされて います。カーソルキーで好きなシーンに移動し、LNCH SCENE キーを押すだけで、シーンを起動することができます。



#### Transport Controls (トランスポートコントロール)

UF1では最下段に専用のトランスポートキー、その上部にセカンダリートランスポートキーを配置しています。セカンダリートランスポートキーには、ループのオン/オフやクリックのオン/オフなど、DAWでよく使われる機能があらかじめ割り当てられています。セカンダリートランスポートキーは、360°ソフトウェアアプリケーションで再割り当てが可能です。



#### Transport Keys (トランスポートキー)

主要なトランスポートキーは、DAW内の主要なトランスポートコマンドに便利にアクセスすることができます。 左から右へ:巻き戻し、早送り、停止、再生、録音。

#### Secondary Transport Keys (セカンダリートランスポートキー)

セカンダリートランスポートコントロールは、DAW内で頻繁に使用される他のいくつかの機能に素早くアクセスすることができます。これらのキーは、SSL 360°で再割り当てが可能です。デフォルトのマッピングは以下の通りです:前ページ(デバイス/プラグインをコントロールする際の前パラメーターページ)、次ページ(デバイス/プラグインをコントロールする際の次パラメーターページ)、ループのオン/オフ、未割り当てキー、クイックキー 2つ。Live では、クイックキー 1 が Back To Arrangement キー、クイックキー 2 が UF1を切り替えて Live の Return Tracks をコントロールします。

Live のショートカットキーマッピングツールを使って、Live のメトロノームにキーボードコマンドを割り当て、そのキーボード ショートカットを UF1 の割り当てられていないメトロノームキーにマッピングしてはいかがでしょうか。

#### Shifted Functions of the Secondary Transport Keys - Automation Modes

(セカンダリートランスポートキーのシフト機能)

**セカンダリートランスポート**キーの下に、追加のラベルがあることにお気づきでしょうか。 これらの機能は通常、DAW のオートメーション・ モードに関連するものですが、Live には適用されません。

ADDLOC

2-Snr

052.02.0 L 880

Pn

PREVIOC

3-Hats

NEXTLOC

SOFT KEYS 2/10

4-Bass

1/0

CHANNEL

1-Kick

#### V-Pot Assignment Modes (V-Pot $\mathcal{P} \forall \mathcal{T} \vee \exists \neg F$ )

UF1 は、Live の主要な Mackie Control の V-Pot アサインモードに直接アクセスすることができます。これらの V-Pot アサイン・モードは、以下のキーでアクセスできます: 1 パン、2 センド、3 デバイス (プラグイン) 4 パO。

3

PREVIOC NEXTLOC

SOFT KEYS

4-Bass

ADDLOC

2-Snr

052.02.0 L 880

Pn

センドとデバイス (プラグイン) は ソフトキーページ1で使用可能

3-Hats

1/0

CHANNEL

1-Kick



パンキーは、スモール LCD の 上のソフトキーにあります。



**1** - PAN (パン)

パンコントロールをUF1のV-Potにアサインします。V-Potを押すと、センターポジションに設定されます。

## **2** - SEND (センド)

現在選択されているトラックのSendコントロールをUF1のV-Potにアサインします。LCD中央の青い2桁の数字が、選択されているトラックの番号を知らせます。V-Potを押すと、そのセンドはOFFになります。5-8キーを使って、選択したトラックのセンドE~Hにアクセスします。

#### (3) - DEVICE (Plug-ins) (デバイス (プラグイン))

Live のインストゥルメントやサードパーティ製オーディオプラグインをUF1から直接コントロールすることができます。**DEVICE**キーを押して このモードに入ったら、次の操作を行います:

- プラグインを制御したいトラックを選択します。
- UF1のLow LCD部にプラグインの名称が表示されます。
- コントロールしたいプラグインの V-Potを押します。
- プラグインのパラメータが V-Pot に割り当てられます。
- プラグインのパラメータは、V-Potをまたいでアサインされます。セカンダリートランスポートセクションの 5-8 キーと PAGE LEFT、PAGE RIGHT キーの組み合わせで、デバイスが持つすべてのパラメータにアクセスできます。
- **DEVICE** キーをもう一度押すと、デバイスに搭載されているプラグインの名称が表示され ます。

## **4** - I/O

V-Potの各トラックの **I/O** 設定を行います。**I/O**キーを繰り返し押すと、次のオプションが切り替わります:入力タイプ、入力ソース、出力タイプ、出力デスティネーション。



OFF READ

5-8キーとPAGE LEFT、 PAGE RIGHT キーの組み合わせで、 デバイスが持つすべての パラメータにアクセスできます。

#### User Bank Pre-Assignments (ユーザーバンクのプリ・アサインメント)

ソフトキーページ 1~10 では、UF1 の上部にある 4 つのソフトキーから、様々な DAW コマンドやキーボードショートカットにアクセスすることができます。もちろん、これらは SSL 360°の UF1ページで利用可能な DAW コマンドや独自のキーボードショートカットシーケンスに変更することができます。ページ < と > ソフトキーを使って、さまざまなページを移動します。

Soft Key Page 1	Soft Key Page 2			
LNCH SCENE SEND DEVICE SMPTE/BEATS	I/O	ADD LOC	PREV LOC	NEXT LOC
Soft Key Page 3	Soft Key P	age 4		
ARR/SS BROWSER DETAIL TRACK/CLIP	PUNCH IN	PUNCH OUT	START	END
Soft Key Page 5	Soft Key P	age 6		
UNDO REDO FOLLOW DRAW	METER	REC ARM		
Soft Key Page 7 (Unassigned)	Soft Key P	age 8 (Unass	igned)	
Soft Key Page 9 (Unassigned)	Soft Key	Page 10 (Una	ssigned)	

#### Assignable DAW Commands List - Live (アサイン可能な DAW コマンド一覧 - Live)

SSL 360°では、以下の DAW コマンドをユーザーキーやクイックキーに割り当てて使用することができます。 括弧内のラベルは、その機能が何をするものかを明確にするために追加されています。

I/O Pan Page Left Send Device Page Right Flip Return Tracks Shift Option Control Alt Arr/SS (Arrangement/Session View Toggle) Track/Clip Browser Detail Undo BTA (Back To Arrangement) Draw Redo Add Locator Follow Previous Loc (Locator) Next Loc (Locator) Cycle Punch In Punch Out Start End Rewind Forward Stop Play Record Launch Clip Launch Scene Rec/Rdy Meter Readout

## Studio One with UF1 - Tutorial (Studio One - チュートリアル)

以下のチュートリアルでは、UF1のLAYER 1でデフォルトの Studio One プロファイルを設定し、使用する方法を説明します。別のレイヤーで Studio Oneを設定する場合は、UF1ユーザーガイドの「DAW Communication」のセクションを参照して、お使いの DAW が正しい SSL V-MIDI ポートに設定されていることを確認してください。

## SSL 360° Setup (SSL 360° セットアップ)

- 1. Mac または Windows コンピュータで SSL 360° のアプリケーションを開きます。**HOME** ページで、UF1 が SSL 360° で検出されたことを確認します。
- 次に、UF1 ページで Layer 1 をドロップダウン・リストで Studio One に設定します。Studio One がドロップダウンリストに表示され ない場合は、CONTROL SETUP ページで DAW 1 として設定されていないためです。



STEP 1 : SL 360°のアプリケーション を開き、UF1がSSL 360°で検出され たことを確認します



STEP 2 : UF1 ページでLayer 1 をド ロップダウン・リストで Studio One に 設定します

#### Studio One Setup (Studio One セットアップ)

- 3. Studio One を起動します。 Preferences > External Devices を開き、 Add... ボタンをクリックします。
- 4. Add Device ウィンドウで Mackie Control を選択し、Receive From を SSL V-MIDI Port 1 Source に、Send To を SSL V-MIDI Port 1 Destination に設定し、OK をクリックします。



STEP 3 : Preferences > External Devices を開き、Add... ボタンをクリ ックします



STEP 4 : Add Device ウィンドウで Mackie Control を選択し、Receive From と Send To を SSL V-MIDI Port 1 Destination に設定します

### Small LCD Layout (スモール LCD レイアウト)



Top Zone - 直上のソフトキーボタンに割り当てられた機能のラベルを表示します。

Track Record-Enabled (REC) - トラックが録音可能状態な場合、REC テキストが表示されます。

Fader Sel Indication - UF1 がフォーカスしている現在のコントローラーバンク内のフェーダー番号を表示します。

UpLCD - 通常、現在のモードに応じて、トラック名または V-Pot で制御されているパラメータを表示します。

LowLCD - フェーダーを移動した場合を除き、現在 V-Pot に割り当てられているパラメーターのラベルまたは数値が表示されます (この場合、フェーダーの dB 値が表示されます)。

V-Pot readout bar - 現在割り当てられている V-Pot (エンコーダー)機能の位置を表示します。

## Large LCD Layout (ラージ LCD レイアウト)



Soft Key Labels - 直上のソフトキーに割り当てられた機能のラベルが表示されます。

Timecode - 現在のタイムコードを Bars/Beats または SMPTE で表示します。

Channel Mode - 現在の CHANNEL エンコーダーモードを表示します。

Solo Active Indication - アクティブなソロトラックがあるかどうかを示します。

V-Pot Assignment Mode - 現在の V-Pot アサインメントモード情報。

Soft Key Page - 現在のソフトキーのページ番号が表示されます。

Top Scribble - 現在のコントローラバンクのトラック 1-4 または 5-8 のトラック名を表示します。

Low Scribble - V-Pot にアサインされているパラメータのラベルや値、V-Pot アサインモードが Pan の場合はフェーダーの dB 値な どを表示します。

V-Pot Readout Bar - 現在割り当てられた V-Pot (エンコーダー)機能のポジションを表示します。

V-Pots - 割り当てられたパラメータを制御する4つのV-Pot。

### Tutorial (チュートリアル)

UF1と Studio One の使い方を説明します。



#### Before You Start... (始める前に...)

この Studio One チュートリアルでは、UF1 を Studio One で使用する際の主な機能を説明して います。

このガイドに記載されていない内容は、Presonus のウェブサイトから入手できる "Studio One - Mackie Control Support" ドキュメントで確認できます。

#### V-Pot (ブイポット)

ストリップの上部には、V-Pot (バーチャルポット) があります。V-Pot の機能は、現在アクティブな V-Pot アサインモードによって異なりますが、通常、パンポジション、センドレベル、プラグインパラ メーター、パラメーターオプション/リストのスクロール などのタスクに使用されます。

V-Pot にはプッシュ機能があり、通常、コントロールするパラメータの位置をデフォルトにするために 使用します。

#### **100 mm Motorised Fader** (100 mm モーターフェーダー)

トラックを物理的にコントロールするモーターフェーダーは、ミックスレベルのバランス調整やボリュ ームオートメーションの操作に最適です。

*V-Potがパンをコントロールしているときは、Low LCD セクションにフェーダーの* dB が表示されます。

#### Solo, Cut & Sel (セレクト)

UF1のフェーダーストリップには、トラックのソロ、ミュート、セレクトに対応する SOLO、CUT、SEL キーがあります。

#### Flip (フリップ)

**FLIP** キーを押すと、V-Pot とフェーダーの機能が切り替わります。センドレベルなどを V-Pot ではなくフェーダーでコントロールする場合など、さまざまな場面で活躍します。

#### Master (マスター)

UF1フェーダーをマスターフェーダーとしてコントロールするためのキーです。

#### Channel Encoder (チャンネルエンコーダー)

CHANNEL エンコーダーを押すと、大型 LCD が変化し、利用可能な CHANNEL エンコーダーのモードが表示されます。エンコーダーを回して希望のモードをハイライトし、もう一度押してモードを選択します。





#### **<>** (<> =+-)

デフォルトでは、CHANNEL エンコーダーは、UF1 サーフェス上で DAW トラックを1 チャンネルずつ移動するために使用されます。

#### Fader Sel (フェーダー選択)

UF1 がフォーカスしている現在のコントローラーバンク内のトラックの番号を変更できます。UF1のデフォルトはバンク内の最初のチャンネル(フェーダー「1」)で、UF1スモールディスプレイの上隅に表示されます。 UF1が制御している8つのフェーダーのバンクがセッションの終わりにぶつかっている場合、ミキサーの終わりにあるトラックにアクセスするには、これを変更する必要があります。



#### Focus (フォーカス)

マウスのスクロール機能をエミュレートします。マウスのスクロール操作に反応するプラグインやその他のものを画面上でコントロールするのにとても良い方法です。プラグインのGUIを開き、コントロールの上にマウスを置き、エンコーダーを回すだけで、実際に操作することができます。

#### Volume (ボリューム)

CHANNEL エンコーダーは、使用するオーディオデバイスがオペレーティングシステムのボリュームアップ/ダウンで制御できる場合、システムのボリュームレベルを制御します。例えば、外出先でヘッドホンをコンピュータの内蔵オーディオ出力に接続した場合などです。

**SCRUB** 

6

3

360°

LAYER

5

#### **CENTRE KEYS** (センターキー)

## MODE (1)

MODEキーは、大型スクリーンと4つのV-Potの動作を決定します。 MODEキーを押すと、さまざまなオプションが切り替わります。MODEボタンを押し続けると大型LCDの上部にあるソフトキーから各モードに直接アクセスできます。各モードは色分けされています:

#### 一般的な DAW (白色)

大型ディスプレイの下にある4つのV-Potは、現在のV-Pot割り当てモードに応じて、パン、センド、プラグインなどのさまざまなパラメータを制御します。

#### DAW フェーダー (緑色) - "FAdr"

V-Pot は、現在のコントローラーバンクの4つのトラックのフェーダーレベルをコントロールします。レベルは、 dBテキスト表示と V-Pot 表示バーの両方で表されます。

## メータープラグイン (黄色)

V-Potとソフトキーは、SSL 360°を介して、SSL Meter プラグインを直接コントロールします。このモードはすべ ての DAW で共通なので、詳しくは UF1 ユーザーガイド の最後にある

<u>SSL Meter control section</u>の項を参照してください。

5-8 +- ((2))

V-Pot を現在のコントローラーバンクのトラック 5~8 の コントロールに割り当てます。

## ソフトキーページ(3)

ソフトキーに割り当てられているパラメーターの各ページを移動 します。

## バンクキー(4)

バンクキーは、8の倍数でフェーダーの選択を移動します。 8のうちの1番目のチャンネルがMain Faderの両方に現れ、 5-8が選択されていない限り、4つのV-Potにまたがって現れ るチャンネルのうちの1番目となります。



1

MODE

2

5-8

BANK

Above shows the DAW Faders "FAdr" mode has been selected. The V-Pots beneath the large screen control DAW fader levels.



Press and hold the 360° button and whilst keeping it held down, you can switch to a different Layer by pressing the relevant top-row soft key.

## 360° / LAYER 選択キー (5)

360° ボタンを短く押すとSSL 360° アプリケーションを開閉し、UF1 や他の SSL 360° 関連デバイスの編集設定やアサイン可能なキーにア クセスすることができます。360° ボタンを長押しして関連する最上段のソフトキーを押すと、別の DAW やプラグインミキサーのレイヤーに 切り替えることができます。 SCRUB キー(6) SCRUB キーは、Studio One においては無効です。

ジョグホイール (7)

ジョグホイールは、アレンジメントビューのときに、セッションのタイムラインをスクロ ールするために使用します。ジョグホイールを時計回りに動かすと再生ヘッドがタイム ラインを前進し、反時計回りに動かすと後退します。



## カーソルキーとモードキー (クリップの起動とズームアップ)



ジョグホイールの左側にはカーソルキーがあり、中央にはモードキーがあります。

Zoom キーが点灯しているときは、左右のカーソルキーが水平・垂直 方向のトラックズームを行います。

ズームキーをもう一度押すと、上下カーソルキーは選択したトラックを、左右カーソルキーはアレンジ メントビューで選択したオーディオクリップを変更します。

#### Transport Controls (トランスポートコントロール)

UF1では最下段に専用のトランスポートキー、その上部にセカンダリートランスポートキーを配置しています。セカンダリートランスポート キーには、ループのオン/オフやクリックのオン/オフなど、DAWでよく使われる機能があらかじめ割り当てられています。セカンダリートラ ンスポートキーは、360°ソフトウェアアプリケーションで再割り当てが可能です。



#### Transport Keys (トランスポートキー)

主要なトランスポートキーは、DAW内の主要なトランスポートコマンドに便利にアクセスすることができます。 左から右へ:巻き戻し、早送り、停止、再生、録音。

#### Secondary Transport Keys (セカンダリートランスポートキー)

セカンダリートランスポートコントロールは、DAW内で頻繁に使用される他のいくつかの機能に素早くアクセスすることができます。 これらのキーは、SSL 360°で再割り当てが可能です。デフォルトのマッピングは以下の通りです:プラグインエディターの前のデバイス、プ ラグインエディターの次のデバイス、ループのオン/オフ、メトロノーム/クリックのオン/オフ、2つのクイックキー。Studio Oneでは、クイッ クキー1は Solo Clear にプリセットされており、クイックキー2は Channel Editor ウィンドウを開きます。

#### Shifted Functions of the Secondary Transport Keys - Automation Modes

(セカンダリートランスポートキーのシフト機能)

**セカンダリートランスポート**キーの下に、追加のラベルがあることにお気づきでしょうか。 これらの機能は、SHIFT ボタンを押すことで、 Studio One のオートメーションモードにアクセスすることができます。



#### Automation (オートメーション)

UF1フェーダーに表示されている DAW トラックのオートメーションモードを選択するには、まず SEL キーを押す必要があります。 次に、SHIFT キーを押して、セカンダリートランスポートキーをオートメーションキーに変更します。最後に、希望するオートメ ーションモ ードに合致するセカンダリートランスポートキーを押します。



STEP 1: Use the SEL key to select the track.



STEP 2: Engage the SHIFT KEY to re-purpose the secondary transport keys to be automation keys.



STEP 3: press to select the automation mode you wish to set the track to.

TRIM オートメーションモードは Studio One には適用されないため、このキーは無効です。

┑┢╴

5-8

#### V-Pot Assignment Modes (V-Pot $\mathcal{P} \forall \mathcal{T} \vee \exists \neg \lor$ )

UF1では、Studio Oneの4つの主要な Mackie Control V-Potアサインモードに直接アクセスすることができます。これらのV-Potア サインモードには、以下のキーでアクセスします: 1 PAN、2 SEND、3 PLUGIN、4 TRACK (トラック)です。



The Pan Key is located on the Soft Key above the Small

LCD

**(1)- PAN** (パン)

パンコントロールを UF1 の V-Pot にアサインします。V-Pot を押すと、センターポジションに設定されます。

Kick

OdB

#### **2** - SEND (センド)

Send コントロールを V-Pot にアサインします。V-Pot を押すと、センドはデフォルトで 0 dB になります。

SEND キーを最初に押すと、選択したトラックのセンドが V-Pot に配置され、その値が Low LCD ゾーンに表示されます。 このセンドモードは、2 桁の V-Pot アサインモード表示部に SE で表示されます。5-8 キーを使って、選択したトラック のセンド 5~8 に アクセスします。

SEND キーを繰り返し押すと、V-Pot を循環させて、全トラックの特定のセンド「スロット」を一度にコントロールできます。 このセンドモードは、2桁の V-Pot アサインモード表示エリアに S1、S2、S3、S4 などで示されます。

### **3** - PLUGIN (プラグイン)

V-Pot を「Control Link」モードに設定すると、プラグインを制御することができますが、最初に目的のプラグインパラメーターをマッピン グしておく必要があります。次ページをご参照ください。

## **4** - TRACK (トラック)

V-Pot を使って、選択したトラックの様々な機能をコントロールすることができます:

- V-Pot 1 すべての FX インサートスロットをバイパスします。
- V-Pot 2 モニターのオン/オフ
- V-Pot 3 インプットソース
- V-Pot 4 アウトプットソース
- V-Pot 5 センドスロット1バイパス (5-8 キーでアクセス可能)
- V-Pot 6 センドスロット2バイパス (5-8 キーでアクセス可能)
- V-Pot 7 センドスロット3バイパス (5-8 キーでアクセス可能)
- V-Pot 8 センドスロット 4 バイパス (5-8 キーでアクセス可能)



Send & Plug-in is available on Soft

Key Page 1

Snare

Hats

0dB

Bass

OdB



Track is available on Soft Key Page 2

PLUG-IN mapping and control explained (PLUG-INマッピングとコントロールの説明) PLUGIN キーを押して「コントロールリンク」モードにします。2桁の V-Pot アサインモードは PL と表示されます。

# PL

Studio One では、コントロールしたいプラグインごとに、UF1 の V-Pot でどのプラグインパラメーターをコントロールするかをカスタマイズします。PLUGIN キーを初めて押したときは、「Control Link」 モードで設定する必要があるため、プラグインパラメーターは表示されません。Setting Up Plug-In Control の項で、その手順を説明します。

1. UF1のV-Potで制御するプラグインを開き、右上の歯車をクリックします。



2. 左上付近の小さな下矢印をクリックし、ドロップダウンリストの「最近触ったもの」にチェックが入っていることを確認します。



3. 右横の小さな下矢印をクリックし、ドロップダウンリストから「コントロール」を選択します。



4. External Devices Window が表示されます。ウィンドウ内の青いブロックはそれぞれ V-Pot を表しています。



5. マウスで、V-Pot の1つに割り当てたいプラグイン・パラメータを調整します。



Click and drag from the small

hand symbol

6. 小さな手のマークを下にクリックし、「外部デバイス」 ウィンドウのブロックの1つにドラッグして移動します。



7. コントロールは、最初の V-Pot に正常に割り当てられました。他のパラメータや他のプラグインでも、お好みでこの作業を繰り返してくださ い。5-8キーを使って、V-Pot 5-8 にアクセスします。



Successfully assigned control to V-Pot 1

#### **User Bank Pre-Assignments** (ユーザーバンクのプリ・アサインメント)

ソフトキーページ 1~10 では、UF1 の上部にある 4 つのソフトキーから、様々な DAW コマンドやキーボードショートカットにアクセスすることができます。もちろん、これらは SSL 360°の UF1 ページで利用可能な DAW コマンドや独自のキーボードショートカットシーケンスに変更することができます。ページ < と > ソフトキーを使って、さまざまなページを移動します。

Soft Key Page 1	Soft Key Page 2
SEND INSERT BYP PLUGIN SMPTE/BEATS	TRACK CLICK AUTO PUNCH MARKER
Soft Key Page 3	Soft Key Page 4
Shift Option Ctrl Alt	REC ARM UNDO CANCEL ENTER
Soft Key Page 5	Soft Key Page 6
NAME/VALUE AUDIO TRACK AUDIO INSTS FX CHANNELS	BUSSES OUTPUTS ALL TRACKS SOLO CLEAR
Soft Key Page 7	Soft Key Page 8
SHOW INPUTS SHOW TRACK CONSOLE OPEN CHAN	ADD INSERT ADD SEND CHAN EDITOR FLOAT WIND
Soft Key Page 9 (Unassigned)	Soft Key Page 10 (Unassigned)
1%1 B2 B2 E4	F5 F6 F8

#### Function Select Keys 1-8 (F1 - F8) (ファンクション選択キー 1~8 (F1~F8))

ユーザーバンク7と8は、あらかじめFキー1~8に割り当てられています。Fキーの機能は、Studio OneのExternal Devices ウィンドウ (プラグインのパラメータをV-Potに割り当てるのと同じウィンドウ)で変更することができます。Fキーのアサインを変更した場合は、SSL 360°のショートラベル入力ボックスでキーラベルを変更し、UF1のLCDに正しい機能名が表示されるようにすることができます。



Right-click on the button and click 'Assign Command...' to change the function of any of the F keys.

#### Assignable DAW Commands List - Studio One (アサイン可能な DAW コマンド一覧 - Studio One)

SSL 360°では、以下の DAW コマンドを、ユーザー割り当て可能なキーのいずれかに割り当てることができます。括弧内のラベルは、オリジナルの Mackie Control のラベルによると、コマンドが何をするのか明らかでない場合に、それを明確にするために追加されています。

Track	Alt
Pan Sur	Read/Off
EQ (Insert Bypass)	Write
Send	Touch
Plugin	Latch
Flip	Save
Global View	Undo
Name/Value	Cancel
SMPTE/Beats	Enter
F1 (Show Inputs)	Marker
F2 (Show Track)	Cycle
F3 (Console)	Drop (Auto Punch)
F4 (Open Channel)	Click
F5 (Add Insert)	Solo (Clear)
F6 (Add Send)	Forward
F7 (Show Channel Editor)	Rewind
F8 (Toggle Floating Window)	Stop
Audio Tracks	Play
Audio Instruments	Record
Aux (FX Channels)	Play Foot-switch
Busses	Record Foot-switch
Outputs	Rec/Rdy
User (Remote Banks)	Previous Device in Plug-In Editor
Shift	Next Device in Plug-In Editor
Option	
Control	

## LUNA with UF1 - Tutorial (LUNA - チュートリアル)

以下のチュートリアルでは、UF1のLAYER 1でデフォルトのLUNAプロファイルを設定し、使用する方法を説明します。別のレイヤーでLUNAを設定する場合は、UF1ユーザーガイドの「DAW Communication」のセクションを参照して、お使いのDAW が正しいSSL V-MIDIポートに設定されていることを確認してください。

## SSL 360° Setup (SSL 360° セットアップ)

- 1. Mac または Windows コンピュータで SSL 360° のアプリケーションを開きます。HOME ページで、UF1 が SSL 360° で検出されたことを確認します。
- 2. 次に、UF1ページで Layer 1 をドロップダウン・リストで LUNA に設定します。LUNA がドロップダウンリストに表示されない場合は、 CONTROL SETUP ページで DAW 1として設定されていないためです。



STEP 1 : SL 360° のアプリケーション を開き、UF1 が SSL 360° で検出され たことを確認します

LAYER 1	
DAW 1 (LUNA)	
PORT	REVERT

*STEP 2 : UF1 ページで Layer 1 をド ロップダウン・リストで LUNA に設定し ます* 

## LUNA Setup (LUNA セットアップ)

- 3. 画面左のUAダイヤモンドロゴをクリックしてLUNAサイドバーを開き、「設定」をクリックするか、アプリメニューから「LUNA」→「環境 設定」を選択しControllers (コントローラー)をクリックします。
- MIDI コントロールサーフェスの行の1つをクリックし、「Input Device」で「SSL V-MIDI Port 1 Source」を、「Output Device」で 「SSL V-MIDI Port 1 Destination」を選択します。
- 5. **ON**列のボックスを選択して、コントロールサーフェスを有効にします。
- 6. LUNAのMCUオプションを設定します。(SURFACE SHOWS TRACKS FROM、BANK TO SELECTED TRACK、SCROLL LUNA WHEN BANKING など)。



## Small LCD Layout (スモール LCD レイアウト)



Top Zone - 直上のソフトキーボタンに割り当てられた機能のラベルを表示します。

Track Record-Enabled (REC) - トラックが録音可能状態な場合、REC テキストが表示されます。

Fader Sel Indication - UF1 がフォーカスしている現在のコントローラーバンク内のフェーダー番号を表示します。

UpLCD - 現在のモードに応じて、トラック名または V-Pot で制御しているパラメータを表示します。

LowLCD - フェーダーを移動した場合を除き、現在 V-Pot に割り当てられているパラメーターのラベルまたは数値が表示されます (この場合、フェーダーの dB 値が表示されます)。

DAW Track Metering - 12セグメントトラックメーター + クリップ

V-Pot readout bar - 現在割り当てられている V-Pot (エンコーダー)機能の位置を表示します。

## Large LCD Layout (ラージ LCD レイアウト)



Soft Key Labels - 直上のソフトキーに割り当てられた機能のラベルが表示されます。

Timecode - 現在のタイムコードを Bars/Beats または SMPTE で表示します。

Channel Mode - 現在の CHANNEL エンコーダーモードを表示します。

Soft Key Page - 現在のソフトキーのページ番号が表示されます。

Top Scribble - 現在のコントローラバンクのトラック 1-4 または 5-8 のトラック名を表示します。

Low Scribble - V-Pot にアサインされているパラメータのラベルや値、V-Pot アサインモードが Pan の場合はフェーダーの dB 値 などを表示します。

V-Pot Readout Bar - 現在割り当てられた V-Pot (エンコーダー)機能のポジションを表示します。

V-Pots - 割り当てられたパラメータを制御する4つのV-Pot。

#### Tutorial (チュートリアル)

UF1とLUNAの使い方を説明します。



#### Before You Start... (始める前に...)

このLUNAチュートリアルでは、UF1をLUNAで使用する際の主な機能を説明しています。

このガイドでカバーされていない部分は、ユニバーサルオーディオのウェブサイトを参照してください。 https://help.uaudio.com/hc/en-us/articles/4406777753236-LUNA-Control-Surface-Compatibility-Setup

#### **V-Pot** (ブイポット)

ストリップの上部には、V-Pot (バーチャルポット) があります。V-Pot の機能は、現在アクティブな V-Pot アサインモードによって異なりますが、通常、パンポジションやセンドレベルなどのコントロー ルに使用されます。

V-Pot にはプッシュ機能があり、通常、コントロールするパラメータの位置をデフォルトにするために 使用されます。

#### **100 mm Motorised Fader** (100 mm E-9-71-9-)

トラックを物理的にコントロールするモーターフェーダーは、ミックスレベルのバランス調整やボリュ ームオートメーションの操作に最適です。

V-Pot がパンをコントロールしているときは、LowLCD セクションにフェーダーの dB が表示されます。

#### Solo, Cut & Sel (セレクト)

UF1 のフェーダーストリップには、トラックのソロ、ミュート、セレクトに対応する SOLO、CUT、SEL キーがあります。

#### **Flip** (フリップ)

**FLIP** キーを押すと、V-Potとフェーダーの機能が切り替わります。センドレベルなどを V-Pot ではな くフェーダーでコントロールする場合など、さまざまな場面で活躍します。

#### Master (マスター)

UF1フェーダーをマスターフェーダーとしてコントロールするためのキーです。

**Channel Encoder** (チャンネルエンコーダー)

CHANNEL エンコーダーを押すと、大型 LCD が変化し、利用可能な CHANNEL エンコーダーのモードが表示されます。エンコーダーを回 して希望のモードをハイライトし、もう一度押してモードを選択します。





#### **<>** (<> =+-)

デフォルトでは、CHANNEL エンコーダーは、UF1 サーフェス上で DAW トラックを1 チャンネルずつ移動するために使用されます。

#### Fader Sel (フェーダー選択)

UF1がフォーカスしている現在のコントローラーバンク内のトラックの番号を変更できます。UF1のデフォルトは バンク内の最初のチャンネル(フェーダー「1」)で、UF1スモールディスプレイの上隅に表示されます。UF1が 制御している8つのフェーダーのバンクがセッションの終わりにぶつかっている場合、ミキサーの終わりにあるト ラックにアクセスするには、これを変更する必要があります。



#### Focus (フォーカス)

マウスのスクロール機能をエミュレートします。マウスのスクロール操作に反応するプラグインやその他のものを 画面上でコントロールするのにとても良い方法です。プラグインの GUI を開き、コントロールの上にマウスを置 き、エンコーダーを回すだけで、実際に操作することができます。

#### **Volume** (ボリューム)

CHANNEL エンコーダーは、使用するオーディオデバイスがオペレーティングシステムのボリュームアップ/ダウンで制御できる場合、システムのボリュームレベルを制御します。例えば、外出先でヘッドホンをコンピュータの内蔵オーディオ出力に接続した場合などです。

#### CENTRE KEYS (センターキー)

## MODE (1)

MODEキーは、大型スクリーンと4つのV-Potの動作を決定します。MODE キーを押すと、さまざまなオプションが切り替わります。MODEボタンを押し 続けると大型LCDの上部にあるソフトキーから各モードに直接アクセスでき ます。各モードは色分けされています:

#### 一般的な DAW (白色)

大型ディスプレイの下にある4つの V-Potは、現在の V-Pot割り当てモードに応じて、パン、センド、プラグインなどのさまざまなパラメータを制御します。

#### DAW フェーダー (緑色) - "FAdr"

V-Potは、現在のコントローラーバンクの4つのトラック のフェーダーレベルをコントロールします。レベルは、 dBテキスト表示とV-Pot表示バーの両方で表されます。

#### メータープラグイン (黄色)

V-Potとソフトキーは、SSL 360°を介して、SSL Meter プラグインを直接コントロールします。このモードはすべ ての DAW で共通なので、詳しくは UF1 ユーザーガイド の最後にある <u>SSL Meter control section</u> の項を参照 してください。

## 5-8 +- (2)

V-Potを現在のコントローラーバンクのトラック5~8の コントロールに割り当てます。

## ソフトキーページ(3)

ソフトキーに割り当てられているパラメーターの各ページを移動します。

## バンクキー(4)

バンクキーは、8の倍数でフェーダーの選択を移動します。 8のうちの1番目のチャンネルが Main Fader の両方に現 れ、5-8 が選択されていない限り、4つの V-Pot にまたがっ て現れるチャンネルのうちの1番目となります。



1

MODE

2

5-8

BANK

3

**SCRUB** 

6

360°

LAYER

5

Above shows the DAW Faders "FAdr" mode has been selected. The V-Pots beneath the large screen control DAW fader levels.



Press and hold the 360° button and whilst keeping it held down, you can switch to a different Layer by pressing the relevant top-row soft key.

## 360° / LAYER 選択キー ( 5 )

360°ボタンを短く押すとSSL 360°アプリケーションを開閉し、UF1や他のSSL 360°関連デバイスの編集設定やアサイン可能なキーにア クセスすることができます。360°ボタンを長押しして関連する最上段のソフトキーを押すと、別の DAW やプラグインミキサーのレイヤーに 切り替えることができます。

## SCRUB **‡**-(**6**)

SCRUB キーは、LUNA においては無効です。

## ジョグホイール (7)

ジョグホイールは、セッションタイムラインをスクロールするために使用します。 ジョグホイールを時計回りに動かすと再生ヘッドがタイムラインを前進し、反時計 回りに動かすと後退します。



## カーソルキーとモードキー (クリップの起動とズームアップ)



ジョグホイールの左側にはカーソルキーがあり、中央には Zoom キーがあります。

中央のZoomキーが点灯しているときは、左右のカーソルキーが水平・垂直方向のトラックズームを行います。

Zoom キーをもう一度押すと、上下カーソルキーで選択したトラックを変更し、左右カーソルキーでマーカー間を移動します。

#### Transport Controls (トランスポートコントロール)

UF1 では最下段に専用のトランスポートキー、その上部にセカンダリートランスポートキーを配置しています。セカンダリートランスポート キーには、ループのオン/オフやクリックのオン/オフなど、DAW でよく使われる機能があらかじめ割り当てられています。セカンダリートラン スポートキーは、360° ソフトウェアアプリケーションで再割り当てが可能です。



#### Transport Keys (トランスポートキー)

主要なトランスポートキーは、DAW内の主要なトランスポートコマンドに便利にアクセスすることができます。左から右へ:巻き戻し(LUNA ではこれがスタートポイントへ移動になります)、送り(LUNA ではこれがエンドポイントへ移動になります)、停止、再生、録音。

#### Secondary Transport Keys (セカンダリートランスポートキー)

セカンダリートランスポートコントロールは、DAW内で頻繁に使用される他のいくつかの機能に素早くアクセスすることができます。これらのキーは、SSL 360°で再割り当てが可能です。デフォルトのマッピングは以下の通りです:最初の2つのキーは未割り当て、Loopのオン/オフ、メトロノーム/クリックのオン/オフ、2つのクイックキーです。LUNAでは、クイックキー1がプリセットミキサービュー、クイックキー2がメインバスのSpillです。

#### Shifted Functions of the Secondary Transport Keys - Automation Modes

(セカンダリートランスポートキーのシフト機能)

Secondary Transport (セカンダリートランスポート) キーの下に、追加のラベルがあることにお気づきでしょうか。これらの機能は、SHIFT ボタンを押すことで、LUNAのオートメーションモードにアクセスすることができます。



#### **Automation** (オートメーション)

UF1 フェーダーに表示されている DAW トラックのオートメーションモードを選択するには、まず SEL キーを押す必要があります。次に、 SHIFT キーを押して、セカンダリートランスポートキーをオートメーションキーに変更します。最後に、希望するオートメーション モードに 合致するセカンダリートランスポートキーを押します。



STEP 1: Use the SEL key to select the track.



STEP 2: Engage the SHIFT KEY to re-purpose the secondary transport keys to be automation keys.







STEP 3: press to select the automation mode you wish to set the track to.

WRITE オートメーションモードは LUNA には適用されないため、このキーは無効です。

#### 

UF1では、LUNAの4つの主要な Mackie Control V-Pot アサインモードに直接アクセスすることができます。これらの V-Pot アサインモード には、以下のキーでアクセスします: 1 PAN、2 SENDS、3 CUES です。



The Pan Key is located on the Soft Key above the Small LCD



Sends & Cues are available on Soft Key Page 1

## **1** - PAN (パン)

パンコントロールをUF1のV-Potにアサインします。V-Potを押すと、センターポジションに設定されます。

## 2 - SEND (センド) と 3 - CUES (キュー)

LUNA のセンドとキューに V-Pot をアサインするものです。各ボタン (SENDS または CUES) を繰り返し押すことで、 センドをコントロールするための様々なモードを循環させることができます。また、いずれかのキーを長押しし、キーを 保持したまま関連する V-Pot を押すことで、特定のセンドスロットをコントロールすることができます。 5-8 キーと組み 合わせて使用すると、すべてのセンドパラメーターやセンドスロットにアクセスできます。

5-8

#### **User Bank Pre-Assignments** (ユーザーバンクのプリ・アサインメント)

ソフトキーページ 1~10 では、UF1 の上部にある 4 つのソフトキーから、様々な DAW コマンドやキーボードショートカットにアクセスすることができます。 もちろん、 これらは SSL 360°の UF1 ページで利用可能な DAW コマンドや独自のキーボードショートカットシーケンスに変更することができます。 ページキー <と > ソフトキーを使って、 さまざまなページを移動します。



#### Assignable DAW Commands List - LUNA (アサイン可能な DAW コマンドー覧 - LUNA)

SSL 360°では、以下の DAW コマンドを、ユーザー割り当て可能なキーに割り当てることができます。LUNA の MCU 制御の実装がない MCU コマンドには、"Has no function " が付されています。

Track - Has no function	Shift
Pan/Surround (Left-right Pan)	Option
Cues	Control
Sends	Alt
Plugin - Has no function	Read
Flip	Write
Global View - Has no function	Touch
Name/Value - Has no function	Latch
SMPTE/Beats	Trim
F1 (Mixer View)	Save - Has no function
F2 (Spill Main Bus)	Undo
F3- Has no function	Cancel - Has no function
F4 - Has no function	Enter - Has no function
F5 - Has no function	Marker
F6 - Has no function	Cycle
F7 - Has no function	Drop (Auto Punch) - Has no function
F8 - Has no function	Click
MIDI Tracks - Has no function	Solo (Clear)
Inputs - Has no function	Forward
Audio Tracks - Has no function	Rewind
Audio Instruments - Has no function	Stop
Aux - Has no function	Play
Busses - Has no function	Record
Outputs - Has no function	Scrub
User - Has no function	Rec/Rdy

## Pyramix with UF1 - Tutorial (Pyramix - チュートリアル)

以下のチュートリアルでは、UF1のLAYER 1でデフォルトのPyramixプロファイルを設定し、使用する方法を説明します。 別のレイヤーでPyramixを設定する場合は、UF1ユーザーガイドの「DAW Communication」のセクションを参照して、お使いのDAW が 正しい SSL V-MIDI ポートに設定されていることを確認してください。

#### SSL 360° Setup (SSL 360° セットアップ)

- 1. Mac または Windows コンピュータで SSL 360° のアプリケーションを開きます。 **HOME** ページで、 UF1 が SSL 360° で検出されたことを確認します。
- 2. 次に、UF1 ページで Layer 1 をドロップダウン・リストで Pyramix に設定します。Pyramix がドロップダウンリストに表示されない場合 は、<u>CONTROL SETUP</u> ページで DAW 1 として設定されていないためです。



STEP 1 : SL 360° のアプリケーションを 開き、UF1 が SSL 360° で検出されたこ とを確認します



*STEP 2 : UF1ページでLayer 1をドロ* ップダウン・リストで Pyramix に設定し ます

#### **Pyramix Setup** (Pyramix セットアップ)

- 3. Pyramixを開き、「設定」>「すべての設定」メニューにアクセスします。Remote Control > Controller にアクセスし、Add をクリックします。
- 4. コントローラーの名前を入力し、「Driver」を「OASIS」に設定します。
- 5. 「Properties」ボタンをクリックします。
- 6. OASIS ウィンドウで、Transport を EMC に設定します。
- 7. [プロパティ] ボタンをクリックします。
- 8. Midi In と Midi Out の両方のポートに SSL V-MIDI Port 1 を設定します。 このリストで、必要な SSL V-MIDI Port が割り当てられて いることを確認します。
- 9. Controllerドロップダウンメニューで、SSL UF8 MackieCtrl を選択します。OK を押して、異なるウィンドウを閉じます。



STEP 3: Access the Settings > All Settings menu. Go to Remote Control > Controller, click on Add.

Controller	r propertic_	×
Name	SSL UF8	
Driver	OASIS	✓ Properties
	🗹 Enable	
	ОК	Cancel

STEP 4: Enter a name for the controller and set the Driver to OASIS.


STEP 6 : Click on the Properties button. In the OASIS Configuration window, set the Transport to EMC.

	Midi In Port	Midi Out Port		Controller	
1	SSL V-MIDI Port 1 V	SSL V-MIDI Port 1	$\sim$	SSL UF8 MackieCtrl	~
2	Not Connected $\sim$	Not Connected	$\sim$	SSL UF8 MackieCtrl	
3	Not Connected $\sim$	Not Connected	$\sim$	SSL UF8 MackieCtrl	
4	Not Connected V	Not Connected	$\sim$	SSL UF8 MackieCtrl	

STEPS 7, 8, 9: Click on the Properties button. Set SSL V-MIDI Port 1 for both Midi In and Midi Out ports. I

# Small LCD Layout (スモール LCD レイアウト)



Top Zone - 直上のソフトキーボタンに割り当てられた機能のラベルを表示します。

Track Record-Enabled (REC) - トラックが録音可能状態な場合、REC テキストが表示されます。 Fader Sel Indication - UF1 がフォーカスしている現在のコントローラーバンク内のフェーダー番号を表示します。 UpLCD - V-Potを回しているときに、トラック名や V-Pot のパラメーター値を表示します。 LowLCD - Pyramix では使用しません。 DAW Track Metering - 12 セグメントトラックメーター + クリップ V-Pot Readout Bar - 現在割り当てられている V-Pot (エンコーダー) 機能の位置を表示します。

## Large LCD Layout (ラージ LCD レイアウト)



Soft Key Labels - 直上のソフトキーに割り当てられた機能のラベルが表示されます。

Timecode - 現在のタイムコードを Bars/Beats または SMPTE で表示します。

Channel Mode - 現在の CHANNEL エンコーダーモードを表示します。

Soft Key Page - 現在のソフトキーのページ番号が表示されます。

Top Scribble - 現在のコントローラバンクのトラック 1-4 または 5-8 のトラック名を表示します。

Low Scribble - Pyramix では使用しません。

V-Pot Readout Bar - 現在割り当てられた V-Pot (エンコーダー)機能のポジションを表示します。

V-Pots - 割り当てられたパラメータを制御する4つのV-Pot。

## Tutorial (チュートリアル)

UF1とPyramixの使い方を説明します。



## Before You Start... (始める前に...)

SSL UF1 MackieCtrlの実装は、Pyramix 14.0.4 Hotfix から利用可能ですが、14.0.4 Hotfix バージョンに存在する MCU のバグに対応している可能性がありますので、最新バージョンの Pyramix を実行していることを確認してください。

### **V-Pot** (ブイポット)

ストリップの上部には、V-Pot (バーチャルポット) があります。V-Pot の機能は、現在アクティブな V-Pot アサインモードによって異なりますが、通常、パンポジションやセンドレベルなどのコント ロールに使用されます。

V-Potにはプッシュ機能があり、通常、制御しているパラメータが解放されたことをオートメーションエンジンに知らせるために使用されます。

### **100 mm Motorised Fader** (100 mm モーターフェーダー)

モーター駆動でタッチセンサー式のフェーダーは、Pyramixのトラックを物理的にコントロールすることができます。表面のシルクスクリーンは、Pyramixのフェーダースケールと一致しています。

## Solo, Cut & Sel (セレクト)

UF1 のフェーダーストリップには、トラックのソロ、ミュート、セレクトに対応する **SOLO、CUT**、 **SEL** キーがあります。

### **Flip** (フリップ)

Pyramixでは使用しません。

### Master (マスター)

Pyramix では使用しません。

#### **Channel Encoder** (チャンネルエンコーダー)

CHANNEL エンコーダーを押すと、大型 LCD が変化し、利用可能な CHANNEL エンコーダーのモードが表示されます。エンコーダーを回して希望のモードをハイライトし、もう一度押してモードを選択します。



s	OFT KEY 1	SOFT KEY 2	SOFT KEY 3	SOFT KEY 4
╎┍	CHANNEL			-
	CHANNEL < >	FADER SEL FO	OCUS VOLUM	IE
Т	opScrib 1	TopScrib 2	TopScrib 3	TopScrib 4
	LowScrib 1	LowScrib 2	LowScrib 3	LowScrib 4

<> (<> <sup>+</sup>-)

デフォルトでは、CHANNEL エンコーダーは、UF1 サーフェス上で DAW トラックを1 チャンネルずつ移動するために使用されます。

#### Fader Sel (フェーダー選択)

UF1 がフォーカスしている現在のコントローラーバンク内のトラックの番号を変更できます。UF1 のデフォルト はバンク内の最初のチャンネル (フェーダー「1」)で、UF1 スモールディスプレイの上隅に表示されます。UF1 が制御している8つのフェーダーのバンクがセッションの終わりにぶつかっている場合、ミキサーの終わりにあ るトラックにアクセスするには、これを変更する必要があります。



#### **Focus** (フォーカス)

マウスのスクロール機能をエミュレートします。マウスのスクロール操作に反応するプラグインやその他のもの を画面上でコントロールするのにとても良い方法です。プラグインの GUI を開き、コントロールの上にマウスを 置き、エンコーダーを回すだけで、実際に操作することができます。

#### Volume (ボリューム)

CHANNEL エンコーダーは、使用するオーディオデバイスがオペレーティングシステムのボリュームアップ/ダウンで制御できる場合、システムのボリュームレベルを制御します。例えば外出先でヘッドホンをコンピュータの内蔵オーディオ出力に接続した場合などです。

3

SCRUB

6

360°

LAYER

(5)

#### **CENTRE KEYS** (センターキー)

# MODE (1)

MODE キーは、大型スクリーンと4 つの V-Pot の動作を決定します。 MODE キーを押すと、さまざまなオプションが切り替わります。 MODE ボ タンを押し続けると大型 LCD の上部にあるソフトキーから各モードに直接 アクセスできます。 各モードは色分けされています:

#### 一般的な DAW (白色)

大型ディスプレイの下にある4つのV-Potは、現在のV-Pot割り当てモード に応じて、パン、センドなどのさまざまなパラメータを制御します。

#### DAW フェーダー (緑色) - "FAdr"

V-Pot は、現在のコントローラーバンクの4つのトラックのフェーダーレベルをコントロールします。 レベルは、dBテキスト表示とV-Pot表示バーの両方で表されます。

### メータープラグイン (黄色)

V-Potとソフトキーは、SSL 360°を介して、SSL Meter プラグインを直接コントロールします。このモードはす べての DAW で共通なので、詳しくは UF1 ユーザーガイ ドの最後にある <u>SSL Meter control section</u> の項を参 照してください。

# 5-8 +- (2)

V-Potを現在のコントローラーバンクのトラック5~8の コントロールに割り当てます。

# ソフトキーページ < > ( 3

ソフトキーに割り当てられているパラメーターの各ページを 移動します。

# バンクキー <>(4)

バンクキーは、8の倍数でフェーダー選択を移動させ、8のうちの1番目のチャンネルが Main Fader の両方に現れ、5-8を選択しない限り4つの V-Pot に渡って現れるチャンネルのうちの1番目となるように表示されます。

# 360° / LAYER 選択キー (5)

360° ボタンを短く押すとSSL 360° アプリケーションを開閉し、UF1 や他の SSL 360° 関連デバイスの編集設定やアサイン可能なキーに アクセスすることができます。360° ボタンを長押しして関連する最上段のソフトキーを押すと、別の DAW やプラグインミキサーのレイヤ ーに切り替えることができます。

SOFT KEY 1	SOFT KEY 2	SOFT KEY 3	SOFT KEY 4
058	2. 02.		380
CHANNEL < >	SOLO ACTIVE	dr	SOFT KEYS 1/10
Kick	Snare	Hat	Bass
-2.1dB	-3.5dB	4.1dB	0.0dB

1

MODE

2

5-8

BANK

Above shows the DAW Faders "FAdr" mode has been selected. The V-Pots beneath the large screen control DAW fader levels.



Press and hold the 360° button and whilst keeping it held down, you can switch to a different Layer by pressing the relevant top-row soft key. SCRUB キー ( 6 ) SCRUB キーは、Pyramix においては無効です。

ジョグホイール (7)

ジョグホイールは、セッションタイムラインをスクロールするために使用します。 ジョグホイールを時計回りに動かすと再生ヘッドがタイムラインを前進し、反時計 回りに動かすと後退します。



カーソルキーとモードキー (クリップの起動とズームアップ)



ジョグホイールの左側には、カーソルキーがあります。

左/右:選択中のトラックの次/前のクリップにカーソルを移動します。

Shift + 左 / 右: ナッジ±1フレーム (All Settings > Application > Editing > Nudge settingsでユーザー定義)

上 / 下:ズームイン/アウト

Shift + 上 / 下: ウィンドウに合わせる / 前面ズーム

#### Transport Controls (トランスポートコントロール)

UF1では最下段に専用のトランスポートキー、その上部にセカンダリートランスポートキーを配置しています。セカンダリートランスポートキーには、ループのオン/オフやクリックのオン/オフなど、DAWでよく使われる機能があらかじめ割り当てられています。セカンダリートランスポートキーは、360°ソフトウェアアプリケーションで再割り当てが可能です。



#### Transport Keys (トランスポートキー)

主要なトランスポートキーは、DAW内の主要なトランスポートコマンドに便利にアクセスすることができます。 左から右へ:巻き戻し、送り、停止、再生、録音。

#### Secondary Transport Keys (セカンダリートランスポートキー)

セカンダリートランスポートコントロールは、DAW内で頻繁に使用される他のいくつかの機能に素早くアクセスすることができます。これらのキーは、SSL 360°で再割り当てが可能です。デフォルトのマッピングは以下の通りです:Cur to Prev Marker、Cur To Next Marker、Loop on/off、unassigned、2つのクイックキーです。Pyramixでは、クイックキー1は Mixer に、2はCmd/Altキーにプリセットされています。

#### Shifted Functions of the Secondary Transport Keys - Automation Modes

(セカンダリートランスポートキーのシフト機能)

Secondary Transport (セカンダリートランスポート) キーの下に、追加のラベルがあることにお気づきでしょうか。これらの機能は、SHIFT ボタンを押すことで、Pyramix のオートメーションモードにアクセスすることができます。



#### Automation (オートメーション)

ミキサー全体のオートメーションモードを UF1 から直接選択するには、Shift キーを押し、次にセカンダリートランスポートキーから希望の AUTOMATION モードを選択します。

**OFF、READ、WRITE、TRIM**は、Global Pyramix Automationのモードを設定します。



STEP 1: Engage the SHIFT KEY to re-purpose the secondary transport keys to be automation keys.



STEP 2: Press to select the automation mode

#### **V-Pot Assignment Modes** (V-Pot $\mathcal{P} \forall \mathcal{T} \vee \exists \neg \forall \mathcal{T} )$

UF1では、Pyramixで実装されている Mackie Controlの V-Pot アサインモードに直接アクセスすることができます。これらの V-Pot アサイン・モードは、以下のキーでアクセスできます: V-Pot アサインモードボタンを複数回押すと、その機能が変化します。例:1回目の PAN プレス→L/R、2回目の PAN プレス→F/R、3回目の PAN プレス→B/T...





The Pan Key is located on the Soft Key above the Small LCD.

#### User Bank Pre-Assignments (ユーザーバンクのプリ・アサインメント)

ソフトキーページ 1~10 では、UF1 の上部にある 4 つのソフトキーから、様々な DAW コマンドやキーボードショートカットにアクセスする ことができます。もちろん、これらは SSL 360°の UF1 ページで利用可能な DAW コマンドや独自のキーボードショートカットシーケンスに 変更することができます。ページキー < と > ソフトキーを使って、さまざまなページを移動します。

Soft Key Page 1	Soft Key Page 2
AUX GROUP AUX BUS MIX GROUP EQ	DYN MIC/PRE CANCEL ENTER
Soft Key Page 3	Soft Key Page 4
COPY / CUT PASTE SELECT CLIP ADD MARKER	FADE EDITOR PANNER MEDIA MANGMIX DOWN/RE
Soft Key Page 5	Soft Key Page 6
CUR TO MARKCUR TO MARK MARK IN TO MARK OUT TO	CUR TO STAR CUR TO END CUR TO PREV CUR TO NEXT
Soft Key Page 7	Soft Key Page 8
HUI F1 HUI F2 HUI F3 HUI F4	HUI F5 HUI F6 HUI F7 HUI F8
Soft Key Page 9	Soft Key Page 10
REC ARM	

HUI F1~F8 は、Pyramix のキーボードショートカットウィンドウから割り当て可能です。



Duplicate (not usable): Alt, Group, Marker, Nudge, Track, Send

#### Assignable DAW Commands List - Pyramix (アサイン可能な DAW コマンド一覧 - Pyramix)

SSL 360°では、以下の DAW コマンドを、ユーザー割り当て可能なキーに割り当てることが可能です。 ラベルにスラッシュ「/」がある場合、2次機能は FINE/SHIFT キー (MCU Cmd/Altモディファイ) でアクセスできます。

Aux Group	Cancel
Aux Bus	Enter
Mix Group	Paste
Mix Bus	Select Clip
EQ	Copy / Cut
DYN	Rec/Rdy
Mic/Pre	
Add Marker	
Solo	
Media Manager	
Fade Editor	
Mixer	
Mix Down/Render	
Panner	
Forward	
Rewind	
Stop	
Play	
Record	
Loop	
HUI F1	
HUI F2	
HUI F3	
HUI F4	
HUI F5	
HUI F6	
HUI F7	
HUI F8	
Cur to Mark in	
Cur to Mark out	
Mark in to Cur	
Mark out to Cur	
Cur to Start	
Cur to End	
Cur to Next Mark	
Cur to Prev	
Mark	
Alt	
Off	
Read	
Write	
Touch	
Latch	
Trim	
Undo / Redo	

# UF1 & 360°-Enabled Plug-ins (UF1 & 360°で有効なプラグイン)

以下の360°対応プラグインは、UF1から360°プラグインミキサーを経由して直接コントロールすることができます。 各360°対応プラグインの機能をより詳しく確認したい場合は、SSLサポートウェブサイトにある各プラグインのユーザーガイドを 参照してください。https://support.solidstatelogic.com/hc/en-gb/sections/7388282508829-Plug-ins

*VST3フォーマットに対応したDAWでは、360°対応プラグインにはAUではなく、必ずVST3を使用してください。 ※セッション内でVST3とAUを混在させないでください。これは360°ではサポートされておらず、パフォーマンスの問題を引き起こす可能性があります。* 

#### SSL Meter (SSLメーター)

SSLメーターは、インパクトのあるミックスを提供するために設計 されたメータリングツールのセットです。ピークレベル、RMSレベル、フェイズコヒーレンス、ステレオバランス、周波数コンテンツ など、一流のミックスを効率的かつ効果的に作り上げるための機 能を備えています。

DAW 上では最大8つの SSL Meter プラグインが使用でき、UF1 と360° プラグインミキサーでコントロールできます。



## Channel Strip 2 (チャンネルストリップ 2)

Channel Strip 2は、伝説的な XL 9000 K SuperAnalogue コンソールの EQ と Dynamics カーブのデジタルモデリングをベースにした、フル機能のチャンネルストリップです。クリーンでリニアなトーンシェイピングで、最大限の柔軟性を実現します。 クラシックな E シリーズと G シリーズの EQ カーブを切り替えることができます。

プラグインの数に制限はなく、360° プラグインミキサーとUF1 からコントロール できます。



# 4K B

4KBは、伝説的なSL4000Bコンソールのチャンネルストリップの詳細モデルです。SL4000Bは、商業的にリリースされた最初のSSLコンソールで、ロンドンの有名なTownhouse Studio 2「The Stone Room」から生まれた多くのクラシックレコードのサウンドを担っていました。

プラグインの数に制限はなく、360° プラグインミキサーとUF1 からコントロール できます。



SSL UF1 User Guide

# Plug-in Mixer Overview (プラグイン・ミキサー・オーバービュー)

SSL 360° プラグインミキサーは、360° 対応のプラグインを表示し、コントロールするための場所です。各機能の詳細な内訳は、UC1 ユーザーガイドを参照してください。ここでは、SSL Meter プラグインに関連する主要な部分を説明します。





#### **Host** (ホスト)

プラグインミキサーは、最大3台の異なるDAWホストを接続することができます。 ここでも、UF1からも切り替えが可能です。ホストは、360°対応のプラグインをDAW セッションに挿入すると、すぐにオンラインになります。

#### **Centre Section - Meter Plug-ins**

(センターセクション - メータープラグイン)

プラグインミキサーのセンターセクションには、最大8つのSSLメーター プラグインが表示されます。インターフェースは、UF1の物理的なコント ロールと同じです。

**ANALOGUE** の左右にある矢印で、選択したプラグインの Overview、 Analogue、RTA ビューを切り替えます。

下部の8つのボタン(使用されているトラック名)にて、メータープラグインを選択します。



# Plug-in Mixer - Tutorial (プラグインミキサー - チュートリアル)

以下のチュートリアルでは、UF1でのプラグインミキサープロファイルの設定と使用方法を説明します。

#### SSL 360° Setup (SSL 360° セットアップ)

- 1. お使いのコンピューターで SSL 360° アプリケーションを開きます。HOME ページに移動し、UF1 が SSL 360° で検出されている ことを確認します。
- 2. UF1 のページを開き、ドロップダウンリストを使用してレイヤーを Plug-in Mixer に設定します。



STEP 1 : Open SSL 360° application. Check your UF1 has been detected.



STEP 2 : Select the Plug-in Mixer profile from the UF1 page.

#### Plug-in Mixer Setup (プラグインミキサーセットアップ)

•••	SSL 380°
$\triangleright$	
1	LAYER 1 LAYER 2 LAYER 3   DAW 1 (Pro Tools) DAW 2 (Logic Pro) Plage in Maxer
Ø	
····	
-	PLUG-IN MIXER GLOBAL IV 1010 UF1 follows selected Plug-in Mixer Channel Strip Instance
	Automatically page Soft Keys to follow last moved Channel Strip plug-in parameter

UF1 follows selected Plug-in Mixer Channel Strip instance - この設定を有効にすると、UF1は常に選択された有効な360°チャンネルストリップに従います。この設定を無効にすると、UF1のMASTERキーを押したのと同じことになり、UF1はUC1が操作しているチャンネルとは別の360°チャンネルストリップを操作することができます。

Automatically page Soft Keys to follow last moved Channel Strip plug-in parameter - この設定を有効にすると、UF1は 大型ディスプレイとV-Potを、最後に調整したチャンネルストリップのパラメーターのページに自動的にページ送りします(例:プラグ イン本体、360° プラグインミキサー、UF8/UC1で変更したパラメーターに対応するため)。この設定を無効にすると、UF1のソフト キーページとV-Potのアサインは、V-Pot 3/4の下にある Page left/rightキーを使って手動で変更する必要があります。 UF1とUC1を併用する場合は、この設定を無効にすることをお勧めします。UF1をソフトキーページ1の8に設定しておくと、UC1 の拡張機能メニューにあるすべてのチャンネルストリップのパラメータを保持するため、UF1とUC1のすべてのパラメータに簡単に アクセスできるようになります。

## Plug-in Mixer Transport Setup

(プラグインミキサーのトランスポートセットアップ)

UF1 で Transport 機能とタイムコード読み出しを動作させる ためには、Plug-in Mixer Layer が設定した DAW のいずれ かに正しくリンクされていることを確認する必要があります。 SSL 360°の CONTROL SETUP ページに移動し、「Plug-in Mixer Transport」 セクションの TRANSPORT LINKED TOド ロップダウンリストから希望の DAW を選択します。



## Tutorial (チュートリアル)

SSL 360°のプラグインミキサーで UF1 を使用する方法を説明します。

#### Before You Start... (始める前に...)

UF1のレイヤーをプラグインミキサーのコントロールに設定することで、UC1コントローラーの機能を拡張することができます。UC1 コントローラーがなくても、UF1単体で 360° 対応のチャンネルストリップや SSL Meter プラグインのすべてのパラメーターをコント ロールすることができます。



Pan

Bypass - チャンネルストリップがバイパスされているかどうかを示します。

バイパス状態は、直上のソフトキーから切り替えることができます。

Plug-in Mixer Position (プラグインミキサーの位置) - プラグインミキサーにおけるチャンネルストリッププラグインの位置が表示されます。 Channel Strip Type - 360°対応のチャンネルストリップのタイプを表示します (CS 2、4K B等)。

TrkNam - DAW でプラグインが挿入されている DAW トラック名が表示されます。

**O/PdB** - チャンネルストリップの出力フェーダー値が表示されます。

Metering - プラグインのメータリングを表示します。

Dynamics Metering - プラグインによるゲートとコンプレッサーのゲインリダクション量を表示します。

Pan Value - チャンネルストリップのパンコントロールの値が表示されます。

V-Pot Readout Bar - パンの位置が表示されます。小さな LCD の直下にある V-Pot エンコーダーから Pan の位置を調整することができます。V-Pot を押すと、パンがセンターにリセットされます。

**100 mm Motorised Fader** (100mmモーターライズドフェーダー) チャンネルストリップの **OUTPUT FADER** をコントロールします。

#### Solo & Cut (ソロ & カット)

各ストリップには、SOLO、CUT、SEL キーがあります。

**SOLO**と**CUT**キーは、チャンネルストリップ・プラグインの Solo とCut ボタンをコントロールします。DAW によっては、**SOLO**と**CUT**ボタンがソロとミュートボタンを直接制御するものもあります。また、ソロの仕組みが独立しているものもあります。

SOLO AND CUT linked to DAW (Must use VST3 format)	SOLO AND CUT independent of DAW	
Cubase/Nuendo	Dro Toolo	
Live	PTO TOOIS	
Studio One	Logia Pro	
REAPER		

**SOLO**と**CUT**の統合が独立している *(DAW にリンクしていない)* DAW の場合、以下のよう に動作します::

**SOLO** - セッション内の他のすべてのチャンネルストリッププラグインの出力をカットします。 **CUT** - チャンネルストリッププラグインの出力をカットします。

#### SEL

MASTER が無効の場合、SEL キーは機能せず、UF1 が UC1/360° プラグインミキサーの 選択されたチャンネルストリップをフォローしているため、常にアクティブになっています。 MASTERキーが有効で、UF1が別のチャンネルストリップを制御している場合、SELキーを押す ことで、UC1をUF1が選択したチャンネルに強制的に移動させることができます。

#### Flip

Flipキーはプラグインミキサーのレイヤーでは機能しないので、無効になっています。

#### Master

プラグインミキサーの Master キーは、UC1 が選択したチャンネルからフェーダーを切り離し、 UF1 が全く別のチャンネルストリップをコントロールできるようにします (**チャンネルエンコーダ** ーで選択可能)。



6

Plug-in Mixer Tutorial

Channel Encoder - Channel Banking (チャンネルエンコーダー - チャンネルバンキング) デフォルトでは、CHANNEL エンコーダーは、チャンネルストリップを UF1 のサーフェス上で移動さ せるために使用されます。サーフェス上でチャンネルストリップを移動させ、一度に1チャンネルずつ バンクさせます。

Channel Encoder - DAW Host Select (チャンネルエンコーダー - DAW ホストセレクト)

プラグインミキサーは、最大3つの異なるDAW (ホスト)を接続することができます。CHANNEL エ ンコーダーを押すことで切り替えることができます。チャンネルストリップモードでは、スクリーン上の HOST テキストの下にサブメニューが表示されます。CHANNEL エンコーダーで別の HOST にスク ロールし、押して選択を確定することができます。

### CENTRE KEYS (センターキー)

**MODE ( ( 1 ) )** ( $\pm - \ddot{} \pm -)$ 

MODE キーは、大画面と4つのソフトキー、V-Pot の動作を決定するキー です。**MODE**キーを押すと、さまざまなオプションが切り替わります。 各モードは色分けされています。

#### **Channel Strip Mode (backlit)**

(チャンネルストリップモード:(バックライト付き))

360°対応のチャンネルストリップをコントロールし、各ストリップのEQカー ブを確認することができるモードです。

#### Meter Mode (yellow) (メーターモード:(黄色))

SSL Meter プラグインをコントロールするためのモードです。

# **5-8 Key ( ( 2 ) )** (5-8 ≠-)

機能はありません。(プラグインミキサーレイヤー使用時)

# Page Keys ( ( 3 ) ) (ページキー < >)

360°対応のチャンネルストリップや Meter プラグインのパラメーターの 各ページを移動することができます。

# Bank Keys ((4)) (バンクキー)

UF1コントロールサーフェス上のチャンネルストリップを、一度に8の 倍数で移動できるバンクキーです。

# **360° / LAYER selection Key ((5))** (360° / レイヤー選択キー)

360°ボタンを短く押すと、SSL 360°アプリケーションウィンドウをパソコン上で開いたり閉じたりすることができます。 ボタンを長押しすると: 360°ボタンを長押ししたまま、最上段のソフトキーを押すことで、別のレイヤーに切り替えることができます。

DAW 1	DAW 2	Plug-in
Pro Tools	Logic	Mixer

Press and hold the 360° button and whilst keeping it held down, you can switch to a different Layer by pressing the relevant top-row soft key.



Width

LOGIC

-----

L









100.0% Mic





SCRUB Key ( 6 ) (スクラブキー)

**SCRUB** キーは、ジョグホイールをスクラブモードにします (DAW がこの機能を サポートしている場合)。ジョグホイールの回転速度で再生ヘッドがオーディオを 再生しながら、DAW のタイムラインをスクロールします。

# Jog Wheely ( 7) (ジョグホイール )

ジョグホイールは、セッションタイムラインのスクロールに使用します。ジョグホ イールを時計回りに動かすと再生ヘッドがタイムラインを前進し、反時計回りに 動かすと後進します。



Cursor Keys (カーソルキー)



カーソルキーは、SSL 360°プラグインミキサーの画面上のチャンネルストリップを上下左右に移動します。

#### Transport Controls (トランスポートコントール)

下段の主要なトランスポートキーは、DAW内の主要なトランスポートコマンドに便利にアクセスすることができます。 左から右へ:巻き戻し、前進、停止、再生、録音。

上段のセカンダリートランスポートキーには、ループのオン/オフ、クイックキー1によるアクティブなソロクリア(ソロとカットパラメーターが DAW にリンクされていない場合のみ適用)、クイックキー2による V-Pot エンコーダーのノーマル/ファイン解像度の切替があります。





360°対応のチャンネルストリップをコントロールするためのモードです。 このモードには、**MODE**キーをデフォルトの状態に切り替えることでアクセスできます。



Soft Keys - 直下に表示されるチャンネルストリップスイッチのパラメータを制御します。

Timecode - HUI/MCU 経由で DAW タイムコードを表示します (設定されている場合)。

**DAW Host Layer** - Plug-In Mixer がホストしている現在の **DAW** を示します。

プラグインミキサーは、最大3つの異なるDAW(ホスト)を接続することができます。

CHANNEL エンコーダーを押して別のものにスクロールし、確定を押すことで切り替えることができます。

Solo Active - セッション内でソロが有効なチャンネルがあるかどうかを示します。

クイックキー 1 を押すと、アクティブなソロがすべてクリアされます。

ソロとカットのパラメーターがDAWにリンクされていない場合にのみ適用されます。

Channel Strip EQ Display Graph - チャンネルストリップの EQ カーブ/シェイプをグラフィックで表示します。

Channel Strip Parameters Page - ソフトキーとV-Potの現在のチャンネルストリップパラメーターページを表示します。

V-Pot 3と4の下にある左右のページ矢印キーでページを変更し、必要なパラメータを見つけます。

Fine Encoder Mode Indication - エンコーダが FINE 解像度モードであるか否かを表示します。

クイックキー 2 でオン/オフの切り替えが可能です。

Channel Strip V-Pot Parameters - 現在のページのチャンネルストリップパラメータの名前と値が表示されます。

4つの V-Pot を使用してパラメータを調整します。

# SSL Chanel Strip Soft Key & V-Pot Assignments

以下の表は、UF1のソフトキーと大型LCDを囲む V-Potへの360°対応チャンネルストリップのマッピングを表しています。

### **Channel Strip 2**

Page	Soft Key 1	Soft Key 2	Soft Key 3	Soft Key 4	V-Pot 1	V-Pot 2	V-Pot 3	V-Pot 4
1	Ø		SOLO SAFE	S/C LISTEN	Width		Out Trim	Comp Mix
2					In Trim		High Pass	Low Pass
3	LF BELL		E	EQ	LF Gain	LF Freq		
4			E	EQ	LMF Gain	LMF Freq	Q	
5			E	EQ	HMF Gain	HMF Freq	Q	
6	HF BELL		E	EQ	HF Gain	HF Freq		
7	FAST ATTACK	PEAK	S/C LISTEN	DYNAMICS	Ratio	Threshold	Release	
8	EXPAND	FAST ATTACK		DYNAMICS	Range	Threshold	Release	Hold

#### 4K B

Page	Soft Key 1	Soft Key 2	Soft Key 3	Soft Key 4	V-Pot 1	V-Pot 2	V-Pot 3	V-Pot 4
1	Ø	PRE	SOLO SAFE	S/C LISTEN	Width	Mic	Out Trim	Comp Mix
2					In Trim		High Pass	Low Pass
3	LF BELL			EQ	LF Gain	LF Freq		
4				EQ	LMF Gain	LMF Freq	Q	
5				EQ	HMF Gain	HMF Freq	Q	
6	HF BELL			EQ	HF Gain	HF Freq		
7			S/C LISTEN	DYNAMICS	Ratio	Threshold	Release	
8	EXPAND			DYNAMICS	Range	Threshold	Release	

## Large LCD Layout - Meter Mode (LCDレイアウト - メーターモード)

SSL Meterのプラグインをコントロールするためのモードです。MODEキーを黄色の状態に切り替えることで、このモードにアクセスできます。

## **Overview** (オーバービュー)

Overview 画面には、主要な Peak & RMS メータリング、位相、ステレオバランス情報がすべて表示されます。



Meter Screen Selector - 3 種類のメーター画面が切り替わります。(Overview、アナログ、RTA)

Reset - クリップインジケータと最大値を含むすべてのメータリングをリセットします。

Fine Encoder Mode - エンコーダーを精密な調整のためファインレゾリューションモードにします。

Presets Menu - 4番目のエンコーダーでスクロールし、押してロードを確認することで、メーターのプラグインプリセットをロードすること ができるメニューが開きます。

Page	Meter Plug-in Selector	Parameter Control 1	Parameter Control 2	Parameter Control 3	
1	Scroll to select the Meter	Digital Meter Type	RMS Integration Time	Lissajous Fade Time	
2	plug-in instance	Peak Hold Time	True Peak Mode On/Off	-	

## Analogue (アナログ)

Analogue 画面は、アナログのメーターを表示する場所です。VU メーターとPPM Type II メーターのどちらかを選択できます。



Meter Screen Selector - 3 種類のメーター画面が切り替わります。(Overview、アナログ、RTA)

Reset - クリップインジケータと最大値を含むすべてのメータリングをリセットします。

Fine Encoder Mode - エンコーダーを精密な調整のためファインレゾリューションモードにします。

Presets Menu - 4番目のエンコーダーでスクロールし、押してロードを確認することで、メーターのプラグインプリセットをロードすることができるメニューが開きます。

Page	Meter Plug-in Selector	Parameter Control 1	Parameter Control 2	Parameter Control 3
1	Scroll to select the Meter	VU / PPM	0 VU Line-Up	Reference Level
2	plug-in instance	Max Needle Setting	Stereo / Mid-Side	Global Delay

## 31-Band Real-Time Analyser (RTA) (31バンド リアルタイムアナライザー: RTA)

RTA画面は、周波数帯域を確認する場所です。



Meter Screen Selector - 3 種類のメーター画面が切り替わります。(Overview、アナログ、RTA)

Reset - クリップインジケータと最大値を含むすべてのメータリングをリセットします。

Fine Encoder Mode - エンコーダーを精密な調整のためファインレゾリューションモードにします。

Presets Menu - 4番目のエンコーダーでスクロールし、押してロードを確認することで、メーターのプラグインプリセットをロードすることができるメニューが開きます。

Page	Meter Plug-in Selector	Parameter Control 1	Parameter Control 2	Parameter Control 3
1	Scroll to select the Meter plug-in instance	Select Frequency	Scale Top	Scale Bottom
2		Peak Hold Time	Weighting	RTA Averaging
3		Analysis Source	-	-

# UF1 LCD Messages (UF1 LCD メッセージ)

UF1のLCDには、UF1の状態に応じて、特定の情報が表示されます。

#### **Booting / UF1 Identify**



この状態は、UF1の電源投入時にフェーダーが動作するのと並行して表示されます。

#### 'Awaiting Connection to SSL 360° Software'



'UF1 Initialisation Complete'は、UF1のハードウェア起動シーケンスが完了したことを意味します。

'Awaiting Connection to SSL 360°' は、UF1 がコンピューター上で SSL 360° ソフトウェアの実行を待機していることを意味します。 このメッセージは、コンピューターにログオンしたときに、オペレーティングシステムがユーザープロファイルとスタートアップアイテムの読み 込みを完了する前に表示されることがあります。また、UF1 の USB ケーブルをコンピューターに接続する前に、このメッセージが表示される ことがあります。

#### 'Layer Set To None'



このメッセージが表示された場合は、UF1 Layerの DAW プロファイルがまだ選択されていません。SSL 360°の CONTROL SETUP ページで、お使いの DAW を選択します。その後、UF1 ページに移動し、ドロップダウンリストから使用している DAW を選択します。

#### 'Waiting For DAW' (Pro Tools only)



Pro Tools に Layer を設定したが、Pro Tools が終了している場合、または Pro Tools で UF1 を MIDI コントローラーとしてまだ設定してい ない場合、このメッセージが表示されます。





上記の液晶メッセージは、SSL 360°とUF1間の通信が途絶えたことを意味します。この場合、UF1と360°を接続している USB ケーブルが 外れていないか確認してください。取り外されている場合は、再度接続してください。

# SSL 360° Software Messages (SSL 360°ソフトウェアメッセージ)

SSL 360°の HOME ページに 'NO DEVICES CONNECTED' と表示されている場合は、パソコンから UF1 の USB ポートへの USB ケーブルが外れていないか、必ず確認してください。



SSL 360°の HOME ページに 'SOMETHING WENT WRONG... PLEASE EXIT AND RE-LAUNCH SSL 360°' と表示されている場合は、 SSL 360°を終了し、再度起動してください。それでもうまくいかない場合は、コンピュータを再起動してください。



# SSL Support - FAQs, Ask a Question and Compatibility (SSL サポート - FAQ、質問、互換性)

Solid State Logic Help Centreでは、お使いのシステムとの互換性を確認し、疑問に対する答えを見つけることができます: <u>support.solidstatelogic.com</u>

Solid State Logic Help Centre
Q SSL UF1 Compatibility
Results
SSL UF1 : OS Compatibility
SSL 2 / SSL 2+ : OS Compatibility

#### Thank you

UF1をより快適にお使いいただくために、ご登録をお忘れなく。 www.solidstatelogic.com/get-started

## Ν

lotes		

# Safety Notices (安全に関する注意事項)

#### General Safety (一般的な安全性)

- この説明書を読んでください。
- この説明書を保管してください。
- すべての警告に耳を傾けてください。
- すべての指示に従ってください。
- この機器を水の近くで使用しないでください。
- 乾いた布で拭いてください。
- 換気口をふさがないこと。製造元の指示に従って設置してください。
- ラジエターやストーブ、アンプなど、熱源の近くに設置しないでください。
- 極性プラグや接地型プラグの安全目的を破らないでください。極性プラグは、2つのブレードがあり、片方のブレードの幅が、もう片方のブレードの幅より広くなっています。
- 付属のプラグがコンセントに合わない場合は、電気技師に相談し、古いコンセントの交換を依頼してください。
- アダプターや電源コードは、歩いたり挟まれたりしないように保護してください。
- メーカーが推奨するアタッチメントやアクセサリのみを使用してください。
- 雷雨のときや長時間使用しないときは、本機のプラグを抜いてください。
- 修理は認証された技術者が行ってください。故障が発生した場合、水に濡れた場合、落下させた場合など、状況に関わらず、ユーザーに よる修理は行わないでください。
- 本機を改造しないでください。改造すると、性能、安全性、国際規格に影響を与える可能性があります。
- SSLは、許可されていない人によるメンテナンス、修理、改造によって引き起こされた損害について責任を負いません。

#### Installation Notes (設置に関する注意事項)

- 本機を使用するときは、安全な水平な場所に置いてください。
- 冷却のため、必ず本機の周囲に自由に空気が流れるようにしてください。SSL社製のラックマウントキットを使用することをお勧めします。
- 本機に接続されているケーブルに負担がかからないようにしてください。本機に接続されているすべてのケーブルに負担がかからないよう にしてください。踏んだり、引っ張ったり、つまずいたりする可能性があります。

#### 警告:火災や感電の危険を減らすために、この装置を雨や湿気にさらさないでください。



注意: この機器の内部にはユーザーが調整を行ったり、変更を加えることのできる部分はありません。 ユニットまたは電源が損傷した場合は、購入した販売店にご連絡ください。

#### **Environmental** (動作環境)

温度: 稼働時 :+1 ℃ ~ 30 ℃保管・運送時 :-20 ℃ ~ 50 ℃

www.solid-state-logic.co.jp



Solid State Logic